

フォトライフ

# 四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク  
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1  
☎045-476-0777  
平成13年3月1日発行  
季刊第36号

[www.kitamura.co.jp](http://www.kitamura.co.jp)

カメラの  
キタムラ®

vol.36  
SPRING

特集 写真家・三好和義氏

写真とは技術や経験ではなく、  
気持ちで撮るものです。

田中長徳氏執筆「日本のカメラよもやま話」第2回

保存版 マクロ撮影の世界

竹の緑をバックに、紅色のしだれ桜が優雅に揺れる。  
1秒のスローシャッターで何枚も撮った。それぞれの  
枝が、別の生き物のように動いている。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4×5 レン  
ズ：400mm 絞り：f32 1/2 シャッタースピー  
ド：1秒 フィルム：RVP 撮影地：福島県三春町  
福聚寺 〈撮影〉三好和義氏



フォトライフ  
**四季**

CONTENTS  
Vol. 36  
SPRING



風が止んでも、しだれ桜はゆらゆらと揺れている。ファインダーの中の姿をじっと見つめていると、酔ったようないい気持ちになってくる。幹が黒くシルエットになって画面がひきしまった。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4X5 レンズ：150mm 絞り：f32 シャッタースピード：3秒 フィルム：RDP II 撮影地：高知県仁淀村 秋葉しだれ桜 〈撮影〉三好和義氏

特集 写真家・三好和義氏

写真とは技術や経験ではなく、  
気持ちで撮るものです。

キタムラがお薦めする「春の花」撮影ポイント ..... 10

田中長徳氏執筆「日本のカメラよもやま話」第2回 ..... 15

第9回 全国秋の彩フォトコンテスト入賞作品発表 ..... 18

保存版 マクロ撮影の世界 ..... 21

全国写真クラブ紹介 ..... 30

次ページ (P2・3) の写真解説  
まっ青な空をバックに下から見上げるしだれ桜。緑色に苔むした古木が並木をつくっている。ポカリ雲が湧いては流れてゆく。気持ちいい一日だった。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4X5 レンズ：120mm 絞り：f32 シャッタースピード：1秒 フィルム：RVP PLフィルター 撮影地：山梨県身延山麓坊  
〈撮影〉三好和義氏

インターネットプリントサービス ..... 28  
キタムラ撮影ツアー紹介 ..... 28  
キタムラ インフォメーション ..... 32  
プレゼントが当たる！クロスワードパズル ..... 32

MINOLTA



21世紀 α、誕生。

撮影者が、それぞれのスタイルで心ゆくまで映像表現を楽しめるように、α-7は生まれました。道具としての使いやすさと最新のテクノロジーを高いレベルで両立。それは、世界最速オートフォーカス<sup>※1</sup>をはじめとする新コンセプトのフォーカシングシステム等の数々の先進機能。使いやすいダイヤル&レバーによる明快なオペレーション。現在のカメラの状態が一目で把握できるナビゲーションディスプレイ。そして、レンズシステムまでを含めた軽量・コンパクトなボディ。先進性と操作性。機能性と機動性。すべてがバランスよく調和したその存在は、これまでの一眼レフとは明らかに違う。それが快適性能AF一眼、α-7です。21世紀に向けて、撮影者とカメラの新しい関係は、ここから始まります。

- 新コンセプトのフォーカシングシステムにより、すべてのαレンズ<sup>※2</sup>で快適なフォーカシングコントロール。
- 多彩な機能が使いやすいダイヤル&レバー操作。
- 撮影情報を集中表示。快適操作をアシストするナビゲーションディスプレイ。
- 明るさと見やすさを実現した快適な高性能ファインダー。

※1: 50mmレンズ装着時(当社試験条件において)。2000年8月15日現在。 ※2: xiズームレンズ、STF135mm F2.8 [T4.5]を除く。

■α-7のカタログ請求先 (住所・氏名・年齢・機種名記入)  
〒108-8608 東京都港区高輪2-19-13 NS高輪ビル  
ミノルタ株式会社 宣伝課 フォトライフ四季係  
■ホームページアドレス <http://www.minolta.co.jp/japan/camera/>

0570-007111  
※0120-162414 / ※03-5423-7589 9:30~17:30 (土・日・祝日定休)

■フォトサポートセンター 営業時間 10:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日定休)  
携帯電話・PHSをご使用の場合は、03-3356-9111をご利用ください。ファクス番号は、03-3356-6303です。  
■お客様ご案内窓口 (弊社製品に関する各種お問い合わせのご案内およびご意見ご要望などをお受けする窓口です。)  
※0120-162414 / ※03-5423-7589 9:30~17:30 (土・日・祝日定休)



快適性能 AF 一眼。

α-7

希望小売価格(税別)  
α-7・AFズーム 24-105mm F3.5-4.5(D)付 ..... ¥185,000  
α-7ボディ ..... ¥125,000  
AFズーム 24-105mm F3.5-4.5(D) ..... ¥60,000



# 写真とは技術や経験ではなく、 気持ちで撮るものです。

三好和義先生は昨年、10年間撮り続けてこられた屋久島を写真集にまとめられ、同時に銀座の和光ホールで写真展を開催されました。この屋久島の写真展は和光ホールで開催された写真展としては、過去最高の入場者数を樹立しています。今回はこの快挙をとげられた先生に取材をお願いして、ミクロの世界とマクロな世界、古いものと新しいものとを同じように比べてみせる先生の広大な自然観をうかがいました。またカメラのキタムラ「第9回 全国春の花フォトコンテスト」に応募される方々へのアドバイスも、うかがうことができましたので、参考にいただければ幸いです。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて三好先生の作品です。

## 特集 写真家 三好和義氏



みよしかずよし  
1958年、徳島県生まれ。13歳の時沖縄を訪ねて以来、タヒチ、モルディブ、アフリカ、インドなど、おもに南の島を取材し、「楽園」をテーマに写真を撮り続けている。写真集「RAKUNEN」で最年少で木村伊兵衛賞を受賞。世界のフォトジャーナリスト100人に選ばれ、写真集「日本の24時間」(A Day in the Life of Japan)の撮影に参加。1991年から屋久島に通い、日本人と自然との関わりを意識しつつ、屋久島をライフワークとして撮り続けている。1999年、外務省が「日本の世界遺産」の作品540点を買い上げ、国際交流基金「THE JAPAN FOUNDATION」により、世界各国を巡回展。2000年、写真集「屋久島」を出版。2001年より「アサヒカメラ」月例「コンテスト審査員」。

ホームページアドレス <http://www.rakuen.co.jp>

写真は気持ちで撮るものなのだから、ということを実証する写真展を開催したんです。

昨年、東京の銀座で開催された屋久島の写真展は大成功されましたが、先生はその後、屋久島をテーマにした写真展を開催されています。それらの写真展では銀座とは異なる、様々な試みをなさっているようですが、これはどのようなお考えをお持ちになつてのことでしょうか？

同じ屋久島をテーマとした写真展ではあるのですが、同じ写真を展示しているわけではありません。去年開催した銀座の写真展に展示したものは、すべて4×5で撮ったものですが、今年の1月に東京のミノルタフォトスペース新宿で行った写真展では35ミリで撮ったものを展示しました。また、展示の仕方も変えています。銀座では掛け軸や屏風に仕立てて展示していたのに対し、新宿では屋久杉の額縁に入れて展示しました。写

真というものは展示の仕方によっても見え方が違ってくるということ、来ていただいた皆さんに伝えたかったからです。同時に写真展で行っている試みに関しては様々です。たとえば新宿の写真展では、私の屋久島の写真と一緒に、一般の方が撮ったものも並べて展示しました。この試みの意図は、私は以前から、写真は技術や経験をもとにして撮るものではなく、気持ちで撮るものだと考えています。それを実証するために、私と一般

朝、霧の中にサーッと光が矢のようにさしこんできた一瞬。右には、江戸時代に切られたであろう大きな屋久杉の切り株が見える。森の全てが厚い苔におおわれている。

■カメラ：リンホフマスターデヒニカ4×5 レンズ：90mm 絞り：f22 シャッタースピード：4秒 フィルム：RVP 撮影地：屋久島

の方が一緒に同じ場所に行き、撮影をするとどうなるかということを試し、その結果を公開しました。

この試みを実現するために、去年の9月に私の主催で「屋久島写真塾」という、屋久島で一般の方が参加する撮影会のようなものを催したのです。参加者にはアマチュアの写真コンテストなどでは常連というベテランの方もいたのですが、中

には一眼レフカメラをはじめ持つという方もいました。さすがに、はじめて一眼レフカメラを持つのでは無理があると思ひ、当初はコンテストを行って、上位の写真だけを展示する予定でいました。しかし実際に撮り上がった作品を見比べてみると、私の写真と比較しても見劣りがしないのです。結局参加した20名全員の写真を全紙にプリントして、私のものと一緒に展示することにしました。

またこれとは別に、今年の夏に、私の撮ったサハラと屋久島の写真を並べて展示する写真展も計画しています。これは水がまったくなく、生命感のないドライなサハラと、生命感が溢れるウェットな屋久島を対比させてお互いの特徴をより際立たせることにより、来ていただいた皆さんにまた違ったメッセージを読み取っていただくという試みなのです。

こうした写真展での試みを今後も続けていくかどうかに関しましては、まったく未定なのですが、私はこうしたことを通じて写真の持つ意味を考えていますし、来ていただいた皆さんにもそのことを伝えたいのです。

※全紙 470mm×570mmの大判プリントのことです。



フィルム性能が向上したことで、今まで撮れなかったものが撮れるようになりました。

一眼レフカメラをはじめ持つ方でも、見劣りのしない作品が撮れた、というのですが、暗い屋久島の原生林を被写体にしてることを考えると不思議に思えます。これには何か理由があるのでしょうか？

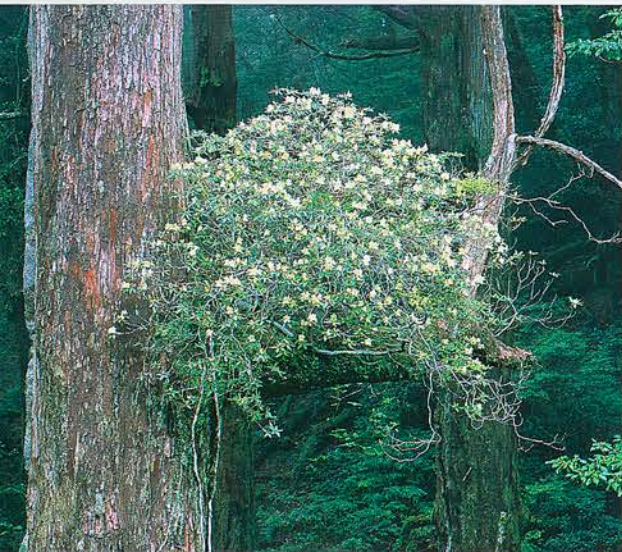
昔は屋久島のような暗い森というのは、フィルム性能が今よりも劣っていたこともあって、写真に撮るのは確かに難しいことでした。しかし今はフィルムの性能も向上していますから、それほど難しいことではなくなっています。今回の屋久島の写真塾では、参加された皆さんにIS O400のフィルムを使っていた

右/樹齢7200年とも言われる縄文杉。あまりの巨大さに、ただ圧倒される。この樹に会うには往復徒歩10時間かかる。

■カメラ：ミノルタα9 レンズ：50mm 絞り：f8 シャッタースピード：1秒 フィルム：RDP II 撮影地：屋久島

左/屋久杉の上に着生したヒカゲツツジ。まるでいけばなのよう。この大きくなるには200年かかっているという話に驚いた。

■カメラ：リンホフマスターデヒニカ4×5 レンズ：300mm 絞り：f22 シャッタースピード：10秒 フィルム：RVP 撮影地：屋久島





クモの巣にとらえられた露の粒子が、真珠のように連なっている。気持ち良い朝、僕はうれしい自然の贈り物を見つけた。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4X5 レンズ：300mm 絞り：f8 シャッタースピード：4秒 フィルム：RVP 撮影地：屋久島

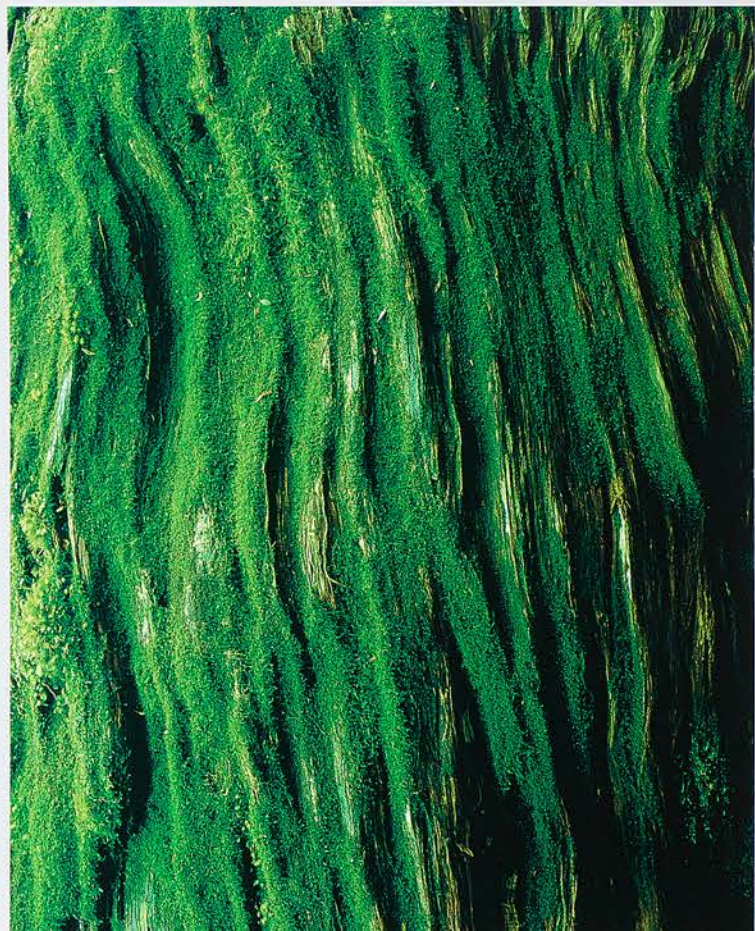
きました。ISO400のフィルムは最近特に性能が上がっていますので、三脚を使ってもこのフィルムを使えば、暗くて撮影の難しい被写体でも写すことができます。

5ミリの水滴と地球を比べて、どちらが美しいかを考えてほしい。

フィルム他に屋久島の写真塾では、どのようなことを参加された方々にお話しされたのですか？

まず最初に私の写真を見てもらい、その写真を撮った場所に次の日お連れして写真を撮りますから、どんな写真を撮りたいかを考えておいてくださいとお願いで、イメージトレーニングしていただきました。それと自然の見方について教えました。七千二百年も立ち続けている縄文杉にし

苔むした倒木をアップにしてみた。美しい立体のオブジェは、写真にしてみるとまさに美術品といえる。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4X5 レンズ：300mm 絞り：f32 シャッタースピード：90秒 フィルム：RVP 撮影地：屋久島



でも、原生林が育んできた造形美や生命の荘厳な様に感動するのであって、単に寿命の長さが素晴らしいわけではないのです。自然の前ではすべてが平等ですから、今生まれた若芽でも、同じ尊い命であることには変わりはありません。カメラを向けてシャッターを押しているときに、実際に写しているのは写体を撮っている本人の気持ち、その被写体の何に美しさを感じたか、ということなのです。ですから、たとえばシダの葉っぱ一枚でも、足下の石ころ一つでも、それが美術品のようだと思えば、縄文杉に劣らない

素晴らしい被写体となるのです。極端な例ですが、たとえば5ミリの水滴を写した写真を大きく引き伸ばして、その横に宇宙から撮った地球の写真を水滴と同じ大きさにプリントして並べたとき、その二枚の写真を見比べたとき、それぞれがどういう意味を持っているのか、それを二人一人考えてほしいと伝えました。

こうした先生の写真塾という試みは、今後も続けていかれるのですか？



桜のように見える沢に落ちたアブラキリの花。5月下旬に見られる。木の下からは大きな葉にさざぎられて、咲いていると見えなかった。  
■カメラ：リンホフマスターテヒニカ4X5 レンズ：210mm 絞り：f22 シャッタースピード：10秒 フィルム：RVP 撮影地：屋久島

今のところは具体的な予定はありませんが、何年かに一度くらいは続けていきたいですね。やるとしても、屋久島は今回やりましたので、次回は場所を変えることになるでしょう。

もし、私の写真塾の話に興味を持たれたのでしたら、今年の2月に雑誌「サライ」別冊で「世界遺産 屋久島の撮り方」という本が出版されていますので、そちらを見てください。この本は私の屋久島に対する自然観や自然の見方、撮り方を解説してあります。撮影のテクニックも初心者に向けたものから、月夜の晩のように撮影する方法やフィルターワークといった高度なものまで、私の撮った作品を例として解説しています。また屋久島のどこに行けば、どのようなものが撮れるのか、屋久島へ行く方法や利用できる宿の情報などもガイドとして入れましたので、これ一冊で屋久島へ撮影旅行をすることができます。

私がなぜ、こうした本を出版する気にな

なったかという点、もちろん屋久島の原生林の意味や価値を皆さんにもっと知っていただきたいということもあるのですが、屋久島が風景写真を愛好している方々に、格好の舞台を提供しているからなのです。屋久島というのは垂直分布とあって、日本の北海道から沖縄までの気候が全部あるのです。ですから屋久島には日本中の植物がある。その屋久島を一通り撮ることができれば、日本中の風景を撮ることができるのです。

### マクロ撮影が写真の世界を広げていきます。

一般の方々に風景写真というと、すぐに広大な景観を写す、いわゆる「引きの写真」を思い浮かべると思うのですが、これとは別に、マクロレンズで被写体に寄って写す「寄りの写真」もあります。先生の屋久島の作品の中にも、マクロレンズで撮られたものがありますが、このマクロレンズを使った撮影についてお話しをうかがえますか？

私が最近よく使用しているレンズは17〜35ミリのワイドズームと100ミリのマクロレンズで、この二つがあれば、私の撮りたい世界をだいたい写すことができます。特に最近ではマクロレンズの性能が良くなってきていますし、値段も安くなっていますから、一般の方々でも手軽にマクロ撮影ができるようになってきました。

マクロの世界というのは、肉眼ではなかなかわからない小さな花や水滴などの美しさをとらえることができますし、これらの被写体は庭先や道端など、どこにでもあります。誰でもマクロ撮影ができるようになったということは、撮影の対象が広がったと同時に、こうした今まではレンズを向けることがなかったところ

にも、レンズを向けるようになったという点で、撮影場所が広がったという意味もあると思います。マクロ撮影で気をつけなければならないことの一つに、些細な風でも被写体がブレしてしまうということがありますが、この場合もISO4000のフィルムを使用すれば、ある程度うまく写すことがで

下/やわらかいシダ植物の新葉。200mmマクロを持って森の中を歩くと、次々とおもしろいものが見つかる。これはわずか2cmぐらいのもの。まっ暗い森で見つけた。  
■カメラ：ミノルタα-9 レンズ：200mm マクロ 絞り：f5.6 シャッタースピード：30秒 フィルム：RDP II 撮影地：屋久島



上/苔の上にふわりと落ちたヒメメツシャラの花。3cmほどで、梅雨のさなかに咲く。露出補正をプラス1にして、見た目より明るく写した。  
■カメラ：ミノルタα-9 レンズ：200mm マクロ 絞り：f5.6 シャッタースピード：30秒 フィルム：RDP II 撮影地：屋久島

# 自然に対する感じ方を磨くことが、結果的に優れた作品を生みだしてゆくのです。

きます。私の場合、マクロ撮影ではISO 0400のフィルムと卓上三脚、レリーズ、アングルファインダーを使用しています。もちろん縦位置用にグリップを自作するといった私なりの工夫は加えています。ISO 400をISO 800に増感させることもありますね。

マクロ撮影に限らず、写真というのはレンズとカメラさえあればいい写真が撮れるかというと、そうではありません。様々な工夫を加えてこそ優れた作品が生まれるのです。そうした工夫を支えているのは、こういうものが撮りたいという意志です。その意志を持ったためにも、自然に対する感じ方を磨いていかなければなりません。

先生のご予定を教えてください。私は昨年、屋久島とは別に「海部川」という写真集も出しましたが、序文は吉永小百合さんをお願いしています。小型の写真集ですが、源流から河口までを撮っています。有名な四万十川よりも美しい川なんです。

私は今後もふるさとと関わりを持ち続けて、自分のアイデンティティーを探ったり、見つめ直したりしながら、自分の楽園を探っていきたくて考えています。今は徳島の剣山を撮っています。また、四国八十八ヶ所も撮りたいですし、空海の求めた楽園である高野山や、中国での空海の足跡も辿ってみたいと考えています。

具体的に進んでいる計画としては、聖地エルサレムを撮った写真集を出版する予定がありますが、現地でまだ戦争が収まっていなかったために出版を控えている状態です。チベット・ブータン・ネパールといったヒマラヤの写真集もまとめたいたいと思っています。こちらは今年の末に出るかどうかが、というところでしょうか。また、少し先の話になるのですが、今年一年かけて沖縄を撮影して、来年のはじめには写真展を開こうと考えています。



沖縄の桜は紅色をしているヒカンサクラ。南国らしさを出すために、クバの葉を手前にシルエットにして入れた。雨の日に撮影。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4X5 レンズ：400mm 絞り：f22 シャッタースピード：2秒 フィルム：RDP II 撮影地：沖縄県名護市のヒカンザクラ

## カメラのキタムラ 「第9回全国春の花フォトコンテスト」



絞りを開放にして、やわらかいボケ味でうすい花びらがうかびあがった。風が止まるのを待った。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4X5 レンズ：210mm 絞り：f5.6 1/2 シャッタースピード：1/15秒 フィルム：RDP II 撮影地：沖縄県今帰仁城のヒカンザクラ

今年も三好先生に審査をお願いする「春の花フォトコンテスト」の季節になりました。応募される方たちのために、先生が応募作品に期待されること、アドバイスをいただければと思います。

まず第一に、作品に撮った方の気持ちや写っていることです。テクニクや頭で考えたものではなく、その場で感じ取ったこと、それが作品に反映されていることがもっとも大事ですね。特に春のフォトコンテストなので、撮った方の春らしいウキウキした気持ちが写っていることです。

次に大切なのはオリジナリティーです。以前に誰かが撮った風景や、以前に入賞している作品と同じようなものを応募したのでは、入選もできないと思います。コンテストというのは自己満足のために

応募するものではありません。入選されてこそ意味があるのですから。

写真のオリジナリティーということを具体的に説明しますと、誰も見たことのない作品を目指すということです。その写真を見た人が、その人がその場にいたことをうらやましいと思ってくれるような作品を目指すことです。特に桜のシャッターチャンスというのは、一日待っても風が止まることは一瞬しかないということがありますし、空の雲の形もどんどん変わっていきます。次々と変わってゆく目の前の風景の、その一期一会をとらえた手応えが伝わってくる作品を期待しています。

お忙しいところを、ありがとうございます。



2000年12月に世界遺産になった沖縄、今帰仁城。うしろには、エメラルド色の海が限りなく広がっている。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4X5 レンズ：400mm 絞り：f32 1/2 シャッタースピード：1秒 フィルム：RDP II 撮影地：沖縄県今帰仁城

### カメラのキタムラ 春の花 フォトコンテスト

## 「第9回全国春の花フォトコンテスト」 作品募集のお知らせ

年々応募点数も作品のレベルもアップしており、写真ファンの皆さんにもすっかりおなじみとなったキタムラ「全国春の花フォトコンテスト」。今回も桜はもちろん、春に咲く花をモチーフとした作品なら何でもOKですので、皆さんの傑作・力作をふるってご応募ください。

賞金・賞品総額 **550万円**

※詳しくは、3月下旬よりカメラのキタムラ店頭に設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。



写真撮るための喜びや楽しさを広げるために、よく努力されていると思います。今後はそれがもっと広がるように、店員の皆さんにもカメラのことがばりではなく、写真のことも詳しくなってほしいと思います。そのためには、店員の皆さんの一人一人がお客様と一緒に写真を撮る楽しさが必要でしょう。今はカメラ屋さん足運ぶお客様も、若い女の子たちが増えてきていますから、そうしたお客様たちにもアピールしていただけるように、今後も頑張っていたきたいと思います。



重そうに花をつけた枝が水面にはり出している。うんとアングルを下げて、水面に映り込んだところを撮った。  
■カメラ：リンホフマスターテニカ4X5 レンズ：400mm 絞り：f32 1/2 シャッタースピード：1秒 フィルム：RDP II 撮影地：東京都新宿御苑

# キタムラがお薦めする「春の花」撮影ポイント

ここに掲載されている撮影ポイント及び写真は、第8回「全国春の花フォトコンテスト」の入選作品以上の方々にご協力いただいたものです。

お客様からの「撮影ポイントを教えてもらいたい」という声に応じて企画しているページで、毎回好評を博しています。協力者からの撮影アドバイスを掲載していますので、参考にしてください。説明の番号は ①撮影者 ②撮影場所 ③撮影チャンスと時期 ④撮影アドバイス ⑤交通手段

※時期はその年の気候によって変化します。事前に確認してお出かけください。  
 ※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっている可能性がありますので、ご了承ください。  
 ※撮影する場合はエチケットやマナーをお守りください。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけないように注意しましょう。自然環境の配慮もお願いします。

## 〈桜の部〉

**1** ①むらうち かつお様 ②北海道虻田郡洞爺湖湖畔の壮瞥町付近 梅公園 ③5月上旬～中旬 午前9時頃 ④撮影地は傾斜が多いので要注意。梅の花の咲く時期を現地観光課に確認すること。⑤※現在洞爺湖周辺は噴火後の復興途中のため、交通事情が変動しております。詳しくは現地観光課におたずねください。



**2** ①遠藤 博様 ②山形県米沢市丸の内松ヶ岬公園(上杉神社) ③4月下旬 午後7時頃 ④花見客が多く、かなりの人出になるので、朝夕を狙うと良い。⑤JR山形新幹線米沢駅下車→白布温泉行きバス上杉神社前下車→徒歩2～3分。



**3** ①高橋 俊春様 ②福島県福島市 花見山西側斜面 ③4月上旬 午前5時頃 ④2年に1回、月が桜のところに沈む。まわりの電線やアンテナをカットするのに工夫がいる。⑤JR東北本線福島駅下車→車で約20分。



**4** ①小宮 良治様 ②栃木県安蘇郡葛生町 葛多山公園 ③4月中旬～下旬 午後4～5時頃 ④斜面西向きに桜があるため午後からの光が良い。⑤東武佐野線葛生駅下車→徒歩約15分。



**5** ①尾崎 清輝様 ②山梨県南都留郡河口湖町広瀬 河口湖美術館付近 ③4月中旬 午前5時半頃 ④夜明け時に紅富士になることが多いので桜に光が当たってなくても撮影すると良い。⑤中央自動車道河口湖インター→鳴沢方面へ→河口湖大橋経由河口湖美術館付近。



## カメラのキタムラ 第9回全国春の花フォトコンテスト

### カメラのキタムラ「第9回全国春の花フォトコンテスト」作品大募集!!

年々応募点数も作品のレベルもアップしており、写真ファンの皆さんにもすっかりおなじみとなったキタムラ「全国春の花フォトコンテスト」。今回は桜はもちろん、春に咲く花をモチーフとした作品なら何でもOKですので、皆さんの傑作・力作をふるってご応募ください。

賞金・賞品総額 **550万円**

※詳しくは、3月下旬よりカメラのキタムラ店頭にて設置される応募用紙またはポスターをご覧ください。



**6** ①古角 民夫様 ②和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山 滝見寺 ③4月中旬 午前10時または午後3時頃 ④天候の影響で滝の水量が増減するので、その時々で工夫すること。晴天時の順光ではアンダーになるので露出補正が必要。⑤JR紀西本線紀伊勝浦駅下車→バス那智山行き約30分→滝前下車→徒歩5分。



**7** ①出宮 史朗様 ②大阪府門真市三ツ島 ③4月上旬 午前10時～12時 ④満開の時の日曜に1日だけ船が出る。撮影ポイントには小さな橋が2ヶ所に架かっているため、そこから狙うと良い。⑤京阪電鉄古川橋駅下車→東南に徒歩40分。



**10** ①田中 利彦様 ②徳島県美馬郡脇町東赤谷 ③4月中旬 午後3時頃 ④風のない日を選ぶこと。午前より昼からのほうが良い。⑤JR徳島線穴吹駅下車→バスで約20分西赤谷下車→徒歩約60分。



**9** ①中村 晴夫様 ②岡山県真庭郡落合町別所 醍醐桜 ③4月中旬 午前5時半頃または夕方(満開時にはライトアップ有) ④池の縁に木が茂っているため、日照時間が短いので要注意。⑤JR姫新線美作落合駅下車→車で30分。または中国自動車道北房IC→車で20分。



**8** ①西川 勲様 ②京都府京都市京北町付近 ③4月下旬 午前10時頃 ④撮影の場所探しを楽しみにされるとよいと思います。⑤JR京都駅下車→車で国道162号線を京北町方向に。



# 〈一般の部〉

**7** ①川村 芳比路様 ②奈良県奈良市中町 追分梅林 ③3月上旬～中旬 早朝 ④日中は観梅客が多いので早朝が良い。⑤近鉄奈良線富雄駅または学園前駅下車→奈良交通バス→若草台下車→徒歩10分。



**6** ①山本まり子様 ②愛知県刈谷市井ヶ谷町 小堤西池 ③5月上旬～中旬 午前5時～8時 ④つぼみを狙うなら5月上旬、開花時期を狙うなら中旬が良い。⑤名鉄知立駅下車→バス15分→上ノ郷バス停下車→徒歩10分。



**5** ①渡辺 仁様 ②静岡県駿東郡清水町 柿田川湧水 ③5月上旬 午前10時頃 ④晴天より曇天を選び、PLフィルターを使用すること。⑤JR東海道線三島駅下車→東海バスまたはタクシーで柿田川下車→徒歩約7分、清水町小学校裏手。



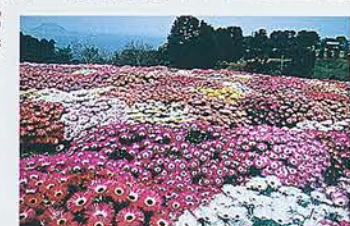
**9** ①橋本 鉄三様 ②香川県高松市内 栗林公園 ③5月中旬 午前11時頃 ④池の縁に木が茂っているため、日照時間が短いので要注意。⑤JR高松駅下車→市内バスで約10～15分→栗林公園前下車→公園北門より徒歩約5分。



**8** ①山下 邦都様 ②島根県大田市三瓶町三瓶山西の原曳き馬 ③4月中旬～下旬 昼頃 ④曳き馬から撮影地までは自家用車がやっと通れる程度の小道。撮影はやや高い位置から俯瞰気味に狙っている。⑤JR山陰本線大田駅下車→定期バス三瓶町行き→定めめの松下車→1キロほどで曳き馬→曳き馬から浮布の池方向に2キロ。



**10** ①寺田 隆様 ②福岡県福岡市西区のこのしまアイランドパーク ③4月中旬 午前10時頃 ④観光客が多いので、どう扱おうかがポイント。⑤福岡市営地下鉄姪浜駅下車→西鉄バス能古渡船場行き→能古渡船場下車→市営渡船で10分。



# 〈桜の部〉

**12** ①松本 誠様 ②長崎県大村市 大村公園(玖島城跡)大村神社境内 ③4月上旬 午前7時 ④日中は花見客が多いので撮影にならない。早朝の斜光で狙うと良い。⑤JR大村線大村駅下車→国道34号を諫早方面へ徒歩30分(タクシーで10分)。



**11** ①横田 康治様 ②高知県高岡郡仁淀村 大渡ダム 別名「茶霧湖」 ③4月上旬 日の出か日没 ④水面の色は毎日変化し、特に雨の翌日は思いがけない色になること。⑤国道33号線JRバス高知⇄松山線秋葉口下車→橋を渡りダム湖に沿って徒歩5分。



●印はカメラのキタムラがある地域。

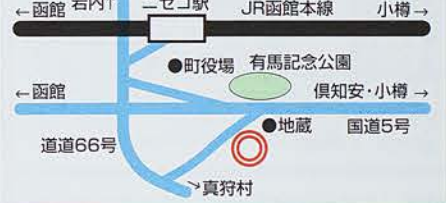
説明の番号は ①撮影者 ②撮影場所 ③撮影チャンスと時期 ④撮影アドバイス ⑤交通手段

※時期はその年の気候によって変化します。事前に確認してお出かけください。  
 ※掲載写真は昨年以前に撮影されたものです。現在は景観が変わっている可能性もありますので、ご了承ください。  
 ※撮影する場合はエチケットやマナーをお守りください。特に撮影地の所有者や近隣に迷惑をかけるないように注意しましょう。自然環境の配慮もお願いします。

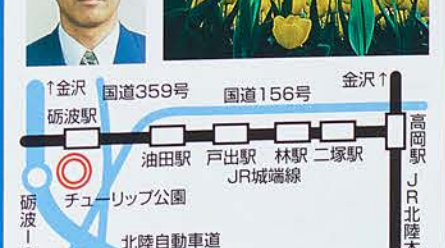
**2** ①成田 敏春様 ②青森県上北郡横浜町 ③5月中旬 朝夕 ④毎年5月第3日曜日にヘリコプターの遊覧飛行があり、空から菜の花畑が写せる。朝夕の斜光に映える菜の花も素晴らしい。⑤JR大湊線陸奥横浜下車→車で5分。



**1** ①庄司 伸康様 ②北海道虻田郡二セコ町 ③5月上旬 午前10時頃 ④晴天で羊蹄山が見える時、または風のない時に狙うとよい。⑤JR函館本線二セコ駅下車→タクシーで倶知安方面へ約5～6分。



**4** ①稲葉 進様 ②富山県砺波市 砺波チュールリップ公園 ③5月上旬 午前10～11時頃 ④被写体に接近してアングルや背景に工夫を。⑤JR北陸本線高岡駅で城端線に乗換→砺波駅下車→徒歩約20分。



**3** ①江戸 奈美子様 ②岩手県岩手郡松尾村 八幡平温泉郷 ③5月上旬 午前中 ④ミズバショウの群生は周辺の色々なところがあるので、狙いやすい場所を探すこと。⑤JR東北本線盛岡駅下車→岩手県バス松川温泉行きで1時間50分→終点下車→松川渓谷沿い徒歩20分。





ちゅうとく  
田中長徳氏執筆

# 日本のカメラ よもやま話

第2回

大昔のレンズシャッター式  
レンジファインダーが新しいぞ!



バックス35は、1950年頃にまだ国産カメラはニッカとか、ニコンS2とかの時代に登場した超小型の35ミリレンズシャッターカメラである。制作は大和光機。写真では大きさが分かりにくいですが、外見は、キヤノンの初期の2Bモデルなどに似ているが、そのサイズはふた周りほど小さい。しかも、なかなかの精密感がある。アメリカでも人気の機種であった。

というところがカメラのシステムを便利に使うための必須条件なのである。そこがへそ曲がりの私にはどうも面白くない。例えば私が日常に使っているカメラは普通のデジタルカメラであるが、64メ

さて第2回目である。これだけ世の中にデジタルカメラが広がっていると、逆にフィルムを入れて写真を撮るといふ昔ながらのカメラの存在が非常に珍しいものになってくる。ところで、デジタルカメラが世の中の通常の撮影手段になってくると、最近ではデジタルカメラのメモリーのことをデジタルフィルムと呼ぶようになった。私にはこの言葉がなかなか実感として理解できないのだ。実際には私もデジタルカメラを仕事に愛用しているのであるが、あのメモリーというやつは実に味気ないものである。単に突っ込むだけだからである。世の中の仕組みにはすべて便利ということが優先するというしきたりがある以上、メモリーを簡単に挿入する

田中 長徳

たなか ちゅうとく/1947年東京生まれ、日大写真科卒。日本デザインセンター勤務の後、1973年からフリーランス写真家に。ウィーンに8年間、ニューヨークに1年間滞在。東京、ウィーン、ニューヨークなどで個展多数開催。著書写真集多数。最近ではクラシックカメラのエッセイの仕事も多い。日本写真家協会会員。



ガバイトのメモリーを入れるとファインモードで150枚以上の写真が撮れるのである。確かにこれは便利である。しかしながらそこには大切なものが抜けているのだ、と思わざるをえない。というのはそれがフィルムを入れるカメラであって、フィルムを装填するということ。つまりは写真を撮影する上でのかなりの楽しみになっていったのだということ。今になって思い知るのである。やはりフィルム装填の楽しみ、これを大切にしなければならぬ。そのフィルムの装填というものは、35ミリフィルムにその真骨頂があると思われるのだ。ご承知のように35ミリのフィルムというものは、映画フィルムの子供であって、世の中ではライカがその最初の第一歩を刻んだということになっている。しかし1920年代前後のカメラの歴史を調べてみると、何もライカだけが35ミリフィルムを使うカメラとして最初の一步を歩んだのではない。あの当時には35ミリフィルムを使うマイナーなカメラがかなりの数、存在したのだ。ただそれらのカメラはそのアイディアが突飛すぎたりした。例えばアメリカ製のツーリストマルチプルというカメラがあるのだが、このカメラは35ミリフィルムのハーフサイズの画面を750枚以上撮影できる欲張りなカメラだった。当時はまだ飛行機が旅行の交通手段となっていない時代だったから、船旅が主だったのである。その船旅の何週間かかかる長い旅行の記録をそのままにすべて撮影してしまおうという意図から750枚撮りというような膨大な撮影カットを一

Nikon



# 写真力。

いい写真への憧れを、このカメラならかなえてくれる。

インターネットホームページアドレス <http://www.nikon.co.jp/photo/> ■nifty(アット・ニフティ)で「ニコン・ステーション」を開設しています。「GO SNIKON」でお気軽にアクセスしてください。■カタログをご用意しています。機種名、記号をご明記の上、100-8693(東京中央郵便局私書箱1269号) 株式会社ニコン お客様相談室 宛ご請求ください。

Nikon 株式会社 ニコン 本社 100-8331 東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル) ■製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話(03)3775-2266 FAX(03)3775-7201

クリエイティブマインド



新開発の「5点測距オートフォーカス」、視認性に優れた世界初「パブリカイト・フォーカスエリア」、構図決定に便利な格子線が表示できる世界初「マルチディスプレイ・スクリーン」を採用。そして「3D-マルチBL調光」も可能なスピードライトを内蔵した、AF一眼レフカメラ。F80SはF80Dの機能に、「コマ間データ写し込み機構」をプラス。

## Nikon F80D

希望小売価格[税別]:  
●ボディ本体(ストラップ・接眼目当てDK-10付).....¥88,000  
●AFズームニッコール28-80mm F3.5-5.6D(New)付¥113,000

## Nikon F80s

希望小売価格[税別]:  
●ボディ本体(ストラップ・接眼目当てDK-10付).....¥102,000  
●AFズームニッコール28-80mm F3.5-5.6D(New)付¥127,000

京セラ株式会社

AF/MFデュアルフォーカスマカニズム 35mm一眼レフカメラ

# CONTAX N1

- AF/MFデュアルフォーカスマカニズム搭載
- 完成度の高い作品作りを可能にする対角5点測距
- ピント位置ずらしを自動化したフォーカスA・B・C機能

N1専用レンズラインナップ

- ①Vario-Sonnar T\* 24-85mm F3.5-4.5 ¥125,000
- ②Vario-Sonnar T\* 70-300mm F4-5.6 ¥175,000
- ③Planar T\* 50mm F1.4 ¥68,000
- ④Makro-Planar T\* 100mm F2.8\* ¥168,000

\*2001年6月発売予定



N1ボディ メーカー希望小売価格 ¥180,000

※製品写真はN1にVario-Sonnar T\*24-85mm F3.5-4.5を装着したものです。

<表示価格は全て税別です。>

お問い合わせ先 京セラ株式会社 光学機器事業本部 マーケティング部  
〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2-14-9 TEL03-3708-3790 京セラホームページ <http://www.kyocera.co.jp/>

アイレス35IIIcは、1954年に登場したライカM3のデザインを、35ミリカメラのデザインにうまく吸収している。一種のコピーカメラであるが、よくライツから文句が出なかったものだ。しかし、ライカM3を持ちたいという、当時の日本カメラ人類のニーズをよく捕まえたものだ。レンズの写りなどもすばらしく、私の現役カメラである。



だという論理がまかり通っていたのであった。今にして思うとかなりこっけいなものの考え方はあったが、それが流行であったのだ。  
まずオリンパスワイドが登場した。これは距離計も何も付いていない35ミリ広角レンズを固定したレンズシャッター式カメラだった。これは一気に大ブームとなった。その当時フォーカルプレーン式のレンズ交換ができるカメラだと、まだ35ミリの広角レンズは非常に高価だったのに、その交換レンズよりさらに安い価格でオリンパスワイドが買えたのである。

戦後の国産35ミリレンズシャッターカメラの黎明期の一例が、リコレットである。ダイカストボディに高級感を持たせ、当時のシンプルな35ミリカメラはセルフコッキングではなかったのに、このカメラではちゃんとフィルムの巻き上げに連動してシャッターがチャージされる。理研光学とは、現在のリコーのことである。小学校の同級生が遠足にこれを持参して、羨ましかった記憶がある。



度に収めることができるカメラが登場したのであった。ただし全く売れなかったようである。そういう35ミリフィルムを使う数々のカメラの中でライカがたまたま一番使いやすいという程度のことであつたらしい。  
最近ではライカというものはかなり神格化され、いわば尊敬の対象になっているようだが、その誕生当時にはライカもまたその他の無数のカメラと同じスタブ台に立っていたのだ。ライカが昔も今も高級カメラということには変わりがないけれども、同じ規格のフィルムを使うカメラで、もっと安価で単純で楽に使うことのできるカメラ、そういうシンブルなカメラが実は35ミリ写真術の精神をもっともよくそこに表現しているのではないだろうか。例えばドイツにはライカの好敵手として1932年にはツァイスイコンのコンタックスが登場したけれども、これはライカと同じようにフォーカルプレーンシャッターを装備した高級

機である。そういうカメラに比べればほぼ同じ時代に初めて登場したコダックのレチナの方が、はるかにシンプルで実践的なカメラといえないこともない。これは蛇腹式のカメラであつて、初めてのエベレスト登山で頂上に立った登山家がこれを使用していたという逸話もある。蛇腹式のカメラであるから携帯は容易だろうし、第一寒風が吹きすさぶエベレストの頂上などではレンズ交換もできる道理はないからそういうレンズが固定式のシンプルカメラというのが道具としては実際に万能カメラよりも役に立つのである。

戦後、日本のカメラ工業が新たな歩みを開始したとき、世界のカメラ大国のドイツに追いつけ！という意気込みから、ニコンの前身、日本光学工業ではニコンI型を作り、キヤノンの前身、精機光学工業ではレンジファインダー式のキヤノンカメラを製作したのだったが、これらはドイツのまねであつた。しかもその当時は、このような高級カメラというものは日本ではその価格があまりにも高すぎて、一般人の手に入るようなものでは到底なかった。その多くは世界の大市場、アメリカに輸出されたのである。日本には日本のカメラ文化があり写真機文化というものがある。そこで戦後のごく早い時期に登場したカメラ、これらにはささやかながら日本の写真機工業を進めて行くという非常にまじめな意気込みが感じられた。それらのシンプルカメラには数多くあるがその中で私の記憶に残るのはオリンパス、コニカ、トプコンなどのシ

そうなることこれは日本のカメラメーカーの長所でもあり短所でもあるのだが、各社から同様な35ミリレンズを付けたワイドカメラが山のように登場したために、結局市場の食い合いになつてしまつて、このブームは終えんを告げた。その後、今度はカメラにセレン式のメーターが内蔵される



アルコというメーカーは大きなメーカーではなかったけど、常にユニークな製品づくりで知られていた。1950年代にすでに蛇腹式の35ミリカメラを市場に出していた。これは、コダックレチナに習って、携帯性を重視したカメラだったが、このタイプは国産では唯一の存在だった。しかも、アルコ35の場合には距離計と連動して35センチまでの接写が可能。

ようになり、さらにこれらはまだ非常に幼稚な段階ではあつたが、セレン式メーターの自動露光がブームとなつてゆく。その代表選手はキヤノンのキヤノンネットであつた。レンズの周囲をセレン式のメーターの受光部でぐるりと囲んだそのスタイルは、その後各社から登場する同じようなカメラの基本デザインとなつた。このキヤノンネットも現代にちゃんと実用になるカメラなのである。しかも最近私がこのカメラを手にしてびっくりしたことはその造りの良さだった。なんと最近のカメラにはない材質感、つまり全金属製のカメラだったのである。中古市場では安ければメーターがちゃんと動いているカメラが数千円で買えるのだし、しかもレンズも優秀である。この種類のカメラは当時はEカメラと呼ばれていた。エレクトリックアイの意味である。この「電気目」という言い方が、実にあの時代を象徴していて私は好きな言葉である。

とここで日本という国は大変なアイデアを出す大國であるから、レンズシャッター式のカメラにもいろいろアイデアが登場した。そのひとつはレンズ交換式のレンズシャッターカメラである。その当時レンズ交換式のカメラなどというものは庶民にとっては夢のまた夢であつたから、その価格が比較的安いレンズシャッター式のカメラに、レンズ交換を可能にするということは非常に魅力的な商品であつた。各メーカーがこれを製作したが、その代表選手はアイレス35Vである。このカメラはレンズの全部の構成をそっくり交換するもので(他の機種ではレンズの前部分だけを交換するのが普通だった)しかも45ミリの標準レンズではその明るさが当時としては驚異的な大口径レンズ、F1.5だったのである。35ミリと100ミリの交換レンズをセットにしてアメリカ市場などでは非常によく売れたカメラであつた。



1960年代初頭には、押せば写るEEカメラの全盛期となった。ミノルタハイマチックは、アメリカはナサのマーキュリー計画でグレン大佐が、宇宙で実際に使用した、最初の日本製カメラとなった。ただし、アメリカでの、このカメラの名称は、アンスコオートマツトである。特殊なグリップに付けて、上下を逆に撮影していたのが、少年時代の私には、いかにもスペースカメラという気がした。

シンプルカメラと呼ばれていて、これはまだ日本とアメリカが講和条約を締結する以前であつたから、そのカメラのボディにはメイドイン・オキユバインド・ジャパンとカメラの革張りに刻印がなされていた。戦後の日本にアメリカ軍に占領された時期があつたなどということは、すでに若い世代の記憶から完全に抹消されていることではあろう。そういう歴史的事実をカメラが記憶しているのであるから、これはちゃんと記録にとどめられなければならない。コニ

カI型の場合にはちゃんとしたレンズシャッターのほかにちゃんと実用になるレンジファインダーがついていた。私はこのカメラが気に入っていて時々使用しているのがあるが、そのボディに張られた革張りはすでに半分は落ちているとはいえそのヘキサ50ミリF3.5のレンズの描写と比較して現代のモダンなレンズと比較してそれほど劣っているというものは、なかなか実用になるのである。



1960年当時のワイドカメラブームでは、オリンパスワイドに続いて、各社が35ミリレンズを付けたワイドカメラを次々に発売した。ミヤワイドもその例外ではなかったが、真面目なメーカーらしく、そのボディとレンズの作りには手を抜いていない。6枚構成の35ミリF2.8が付いているのも、偉かった。

それに前の方でちょっと触れたけれど、ここにはデジタルカメラのように単純にメモリを突っ込んで、即撮影体制というお手軽主義はない、一種の「写真道」ともいえるお作法があるのである。フィルムを入れるカメラを撮影するということは、21世紀の現代では、単に画像を得るということだけではなく、そういう一見す

と無駄なようなことを、しかし実は写真という画像を得るために非常に重要な何者かに関与することなのである。  
昭和20年代の日本のレンジファインダーのレンズシャッター式カメラというのは、そのどれもが非常にシンプルでプリミティブな魅力にあふれている。つまりカメラのボディにシャッター付きのレンズが付き、ボディの上部にはとてもシンプルで逆ガリレオと式のファインダーがついているだけというようのものであつた。現代のプラスチック製オートフ

オカス一眼レフカメラに比べてなんとという魅力的なシンプルさだろうか。  
昭和30年代になるとこの種類のレンズシャッター式カメラにも多くのバリエーションが登場するようになった。その代表選手が、35ミリ広角レンズをつけたワイドカメラである。その当時は写真界には社会主義リアリズムの風潮が流行していて、開発途上国であつたわが国では、表選手がアルコである。それも単に蛇腹式で携帯に便利だけでなく、アルコの場合にはその最短撮影距離が30センチ近くまで接写が可能なのである。これもユニークなレンズシャッター式カメラであつた。  
宇宙カメラとして、35ミリカメラで最初に使われたのは、マーキュリー計画で使用された、ミノルタハイマチック7がある。これはアンスコオートマツトという名前のアメリカ市場向けのカメラであつたが、ミノルタは、自動式レンズシャッターカメラの老舗である。私が気に入っているのは小型化されたミノルタのミノルチナPである。38ミリレンズを付けた、シンプルでブラッククローム仕上げのカメラは、現代では、逆にスナックカメラとしての精彩を見せている。  
レンジファインダー式のレンズシャッターカメラは中古市場でも、手にいれやすい。近くのキタムラの中古売場をチェックしてみよう。

審査員特別賞 全部門共通 賞金3万円と楯<10名>



佳作 賞金1万円と楯

リバーサルプリント 紅葉の部<40名>

- List of artists and titles for the Reverse Print Autumn Leaves category, including names like 北海道 竹内伸太郎 and 青森県 北田善光.

一般の部<40名>

- List of artists and titles for the General category, including names like 山梨県 望月弘久 and 長野県 佐藤信一.

リバーサルプリント 一般の部<40名>

- List of artists and titles for the Reverse Print General category, including names like 北海道 中村和三 and 長野県 小笠原一樹.

ネガカラープリント 紅葉の部<20名>

- List of artists and titles for the Negative Color Print Autumn Leaves category, including names like 北海道 宗山和夫 and 岩手県 岩谷 真.

ネガカラープリント 一般の部<20名>

- List of artists and titles for the Negative Color Print General category, including names like 秋田県 佐々木 洋 and 武田紀子.

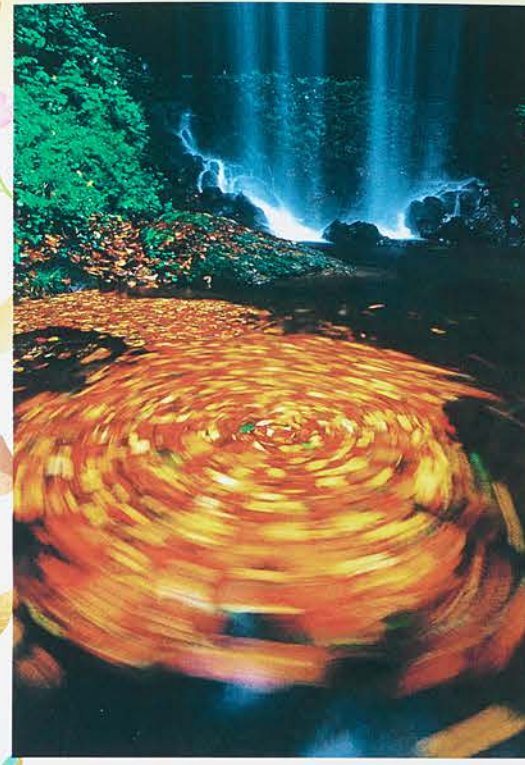
第9回 全国 秋の彩 フォトコンテスト

入賞作品発表!

第9回「全国秋の彩フォトコンテスト」に、今年もたくさんのご応募ありがとうございました。約17,000点の応募総数の中から見事に入賞された方々の作品を、ここに発表させていただきます。

応募総数 約17,000点

主催：カメラのキタムラ 協賛：富士写真フイルム株式会社...



総評：秋の彩フォトコンテストに今年は17,000点もの応募があり、その中から305点を入賞作品として選出するのですから、これは大変な競争率で、入賞された作品はいずれもレベルが高く、審査をしても見応えがありました。

審査員 竹内敏信氏

たけうち としのぶ/1943年愛知県生まれ。名城大学理工学部卒業。愛知県庁勤務を経てフリーとなり、風景写真の第一人者として活躍。



グランプリ 全部門共通 賞金30万円と楯<1名>



はげはら ひでまさ/1964年岡山県倉敷市生まれ。8年ほど前より一眼レフで写真を撮りはじめた。

「落葉の渦」 萩原 秀政 (岡山県倉敷市)

寸評：この作品はネガカラーで撮られたものですが、ネガでもこれほどの作品が撮れるという見本のような作品です。

入選 全部門共通 記念品(賞状) <150名>

- Large list of artists and titles for the runner-up category, organized by region (e.g., 北海道, 青森県, 岩手県).

特選 賞金20万円と楯



「木洩れ日」北笠義治 (大阪府堺市) 石仏群に当たっている光が、細やかな秋の光として生きていて、逆光でありながら、秋の凛とした冷たい風が伝わってくる素晴らしい作品です。



「燃流斜光」井上喜和子 (神奈川県横浜市) 瀧を撮るのは大変なのですが、素晴らしいライティングで、瀧の魅力を十分に引き出し、美しい作品に仕上がっています。



「楽し仲間達」坂本義治 (東京都足立区) 一面の黄葉に秋の色彩が見事にさらされています。被写体のご婦人の方の表情がとてもいい。



「赤い装い」山中俊市 (香川県善通寺市) ツタの赤と白い壁、そして板敷の秋色のバランスが素晴らしい。ほんのわずかな秋の色合いが季節感を静かに感じさせてくれます。

準特選 賞金10万円と楯

リバーサルプリント・紅葉の部<4名>



リバーサルプリント・一般の部<4名>



ネガカラープリント・紅葉の部<4名>



ネガカラープリント・一般の部<4名>



# マクロ撮影の世界

監修/株式会社ニコン、ニコンカメラ販売株式会社

風景というと、私たちはすぐに広大な自然景観を思い浮かべますが、その一方で、一輪の可憐な梅、桜の花びら一枚に季節を感じ取ることもできます。こうした小さな世界をとらえた写真を「マクロ写真」と言い、通常の内眼ではなかなかとらえることができない、写真ならではの世界を、私たちに見せてくれます。今回はこの幻想的な、もう一つの自然を撮るマクロ撮影のお話です。



バラ 使用レンズ ニコンAFマイクロ60mm f2.8

上の写真は、バラの花を撮ったものです。日頃見慣れた花も、こうして大きくしてみると、思いもかけない美しさがありません。気をつけて見回してみると、皆さんの庭先にも、こんな美しい光景があるはずです。それではと、いつもご使用の一眼レフカメラを取りだしてレンズを向けてみても、あるところまで被写体に近づくとピントが合わなくなってしまい、とてもこのバラの写真のように、大きく撮れるところまでは近づくとできません。では、この写真はどのように撮影したのでしょうか？ その答えが、今回のテーマであるマクロ撮影（クローズアップ撮影とも言います）なのです。

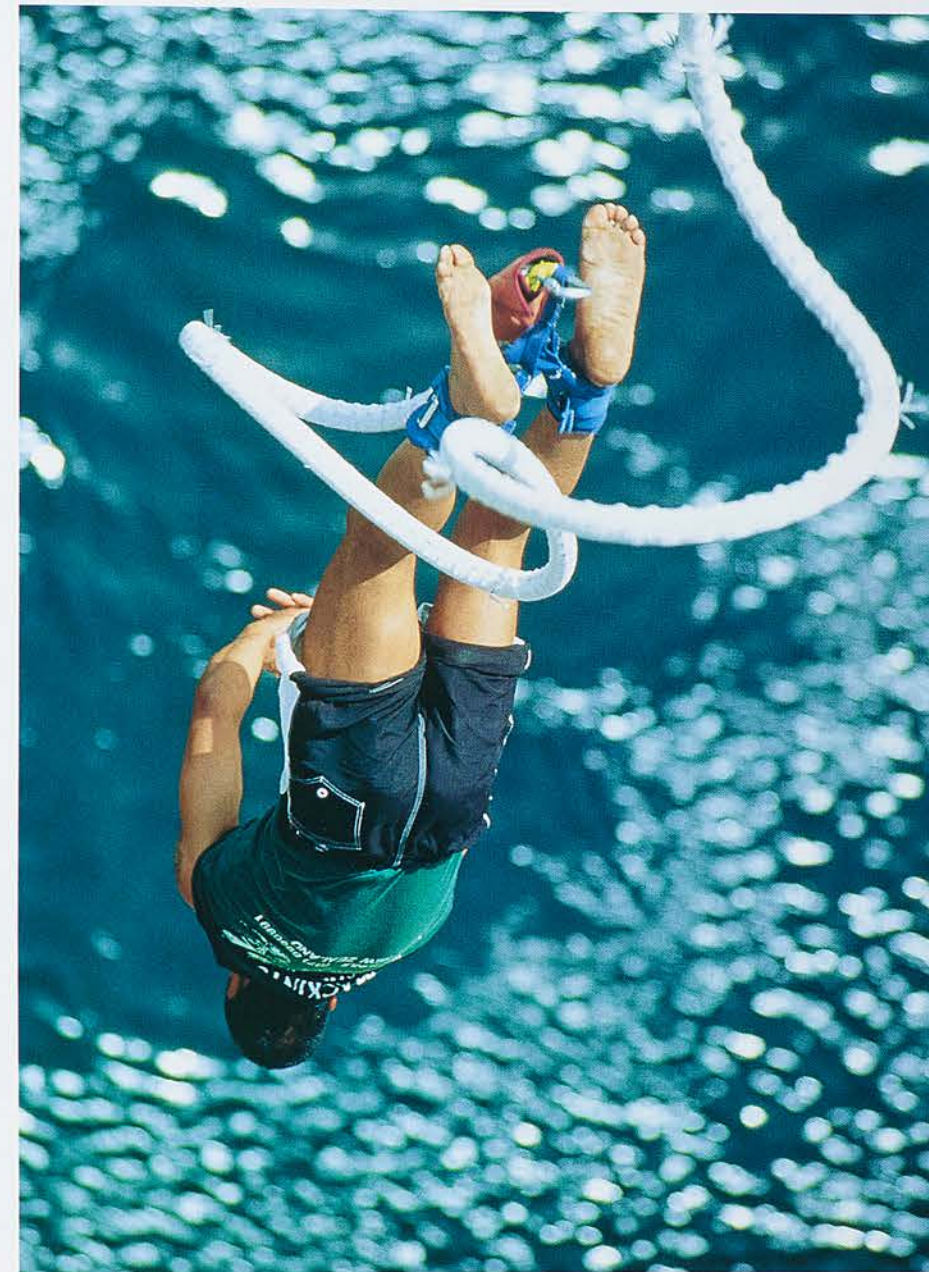
## マクロレンズで写真をもっと面白く！

では、被写体にもっと近づきたい、もっとフィルムに大きく写したい、という場合はどうするかというと、大きく分けて二つの方法があります。

一つは、クローズアップレンズというフィルターをレンズに取り付けたり、あるいは接写リングというものをカメラのレンズとボディの間に取り付ける方法で、それによって、現在お持ちのレンズでも、被写体にもっと近寄って撮影することができますようになります。

もう一つが今回紹介するマクロレンズを使用する方法です。

クローズアップレンズや接写リングは、手軽にマクロ撮影をすることができる反



## OUR WORLD

恐怖との闘いは、一枚の写真の中で決着した。ニュージーランドにて。Andy Belcher/1948年、英国生まれ。1972年にアウトドアに魅せられてニュージーランドに移住、水中撮影カメラマンとして世界的な名声を獲得。現在は、スポーツ、ネイチャーフォトなどの領域でも広範に活躍する。  
撮影データ：シグマ APO 100-300mm F4 EX IF HSM、1/500秒、F5.6

アンディ・ベルカーが世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。

意を決したバンジージャンパーは跳躍した。恐ろしさの後にくる楽しさ、その一瞬を捉えたのはシグマ。より高速なAF撮影を可能にするHSM(Hyper Sonic Motor)搭載の望遠ズーム。S.L.D.(特殊低分散)ガラスを前後群に各2枚採用し、色収差を良好に補正。フォーカシングやズミングしても全長が変わらず、優れたホールディング性を発揮。前玉が回転しないので、円偏光フィルターの使用も容易。別売りのAPOテレコンバーターEXの装着も可能です。



## 使用頻度の高い領域をフルカバー、幅広い撮影目的に応える望遠ズーム。 SIGMA APO 100-300mm F4 EX IF HSM

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201-8630 東京都狛江市若戸南2-3-15 tel.03(3480)1431まで。シグマ ホームページアドレス <http://www.sigma-photo.co.jp>

# マクロ撮影の世界

みつばちをニコンAFマイクロ200mm f4で撮影。望遠マクロは昆虫や小動物の撮影には最適なレンズ。



大きく拡大してくれるのです。もちろん、マクロ撮影でもオートで充分にきれいな撮影をすることができ、手軽に写真の楽しみをマクロの領域にまで広げてくれるレンズなのです。

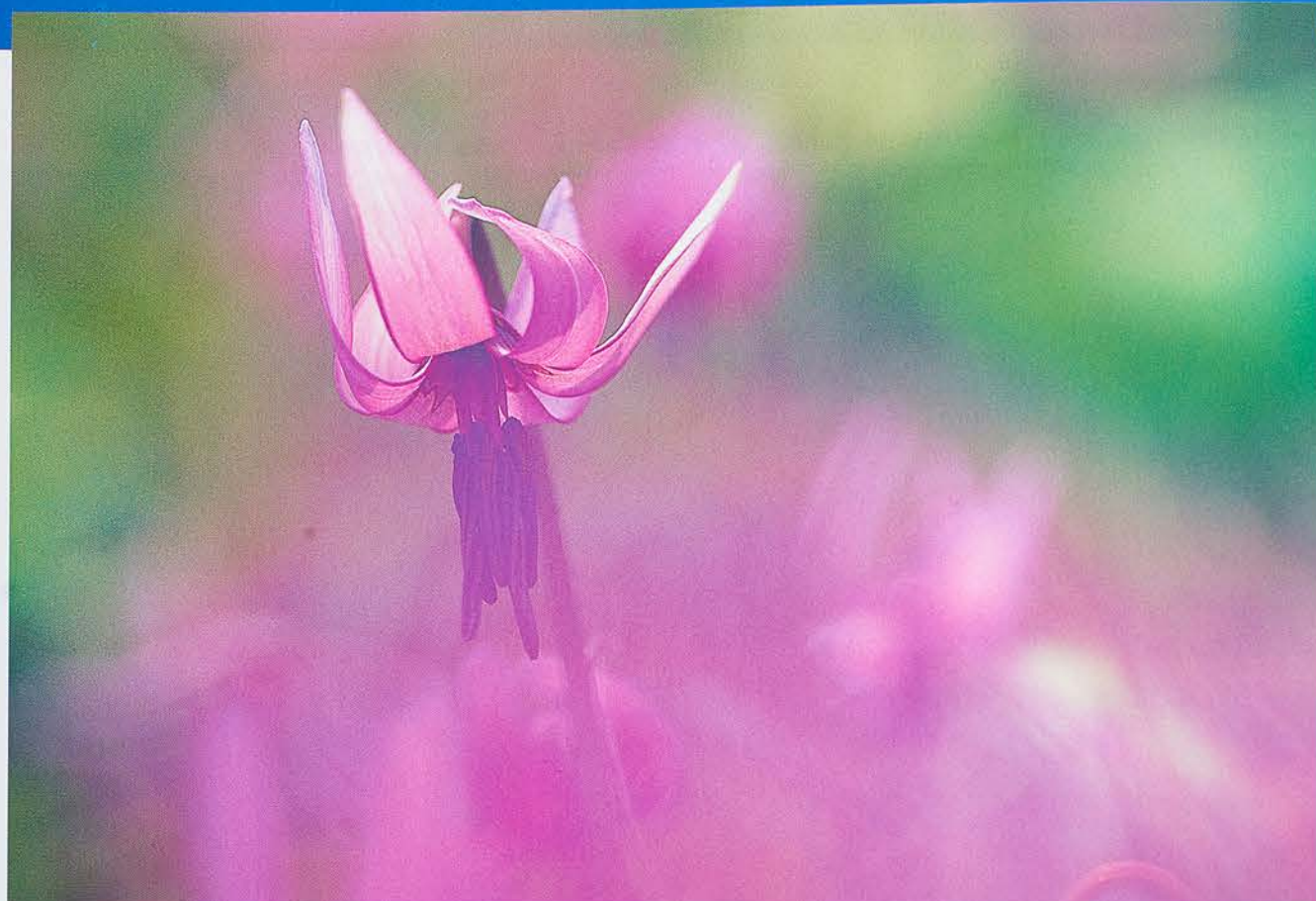
### マクロレンズにも様々な種類がある

マクロレンズには、50〜60mmの標準マクロ、90〜105mmの中望遠マクロ、180〜200mmの望遠マクロ、さらに最近では中望遠から望遠までをカバーできるズームマクロも登場しました。もちろん、これらのレンズは通常の撮影に使用することもできます。

面、撮影するたびにレンズやボディに取付けなければなりません。これに対し、マクロレンズはマクロ撮影をするために設計されたレンズですから、クローズアップはもちろん、そのままマクロ以外の通常の撮影にも使用できます。つまり同じ50mmのレンズでもマクロレンズなら、通常の50mmレンズの撮影に加えて、マクロ撮影もできるので、撮影する被写体や撮影するテーマ、領域を

また、同じ撮影倍率(下記コラム参照)を得ようとした場合、標準よりも中望遠、中望遠よりも望遠というように、焦点距離が長くなるほど、離れた位置から撮影することができ、たとえば望遠マクロレンズの場合、少し高い枝に咲いている梅や桜の二輪もクローズアップすることができ、標準マクロレンズの場合、脚立などを使ってその花に近づ

カタクリをニコンAFマイクロ105mm f2.8で、前後のボケを美しく変えた例。



### マクロ撮影ではブレ対策がキーワード

マクロ撮影ではブレは大敵です。クローズアップで撮影していても、ブレもまたクローズアップされてしまい、わずかに数ミリのブレでも作品が台無しになってしまいます。ですから風には十分に注意しなければなりません、それ以上に自分の体の微妙な揺れにも気をつけなければ

なりません。マクロ撮影の場合、中腰といった不安定な姿勢で撮影することも多くなるので、手持ち撮影は禁物です。必ず三脚を使いましょう。昆虫を被写体を選んで、花でも風のあるときには、ピンントを合わせてシャッターチャンス待って、いわゆる「置きピン」での撮影も多くなりますので、その意味でも三脚は必需品です。また、マクロ撮影の場合は低い位置から狙うことも多くなりますので、三脚は低い位置にカメラを取り付けられるものの方が向いています。雲台も微妙な操作が簡単にできるように、パーン棒等の使いやすいものを選ぶとよいでしょう。こうした撮影上のブレ対策の様々な工夫が、作品の出来に大きく反映する

### 時には高感度フィルムを使うことも。

被写体に近寄れば近寄るほど、被写界深度というピントが合っていると認められる奥行きは浅くなります。少しでも被写界深度を深くするために、絞りを絞り込めば、それだけシャッタースピードが遅くなってしまい、ブレやすくなります。また、暗い森や林の中、あるいは岩陰や葉陰などにひっそりと咲く小さな花を狙う場合も、日陰での撮影になりますので、光量不足のためにどうしてもシャッタースピードは遅くなってしまいます。こうした場合はISO400などの高感度フィルムを使用することも検討してみましょう。

チューリップをニコンAFマイクロ105mmで絞りを変えて撮影した例。左がf2.8、右がf16。マクロ撮影の場合は、絞り値を変えただけでも作品の雰囲気は大きく変化する。



## 撮影倍率と撮影距離

### ■撮影倍率とは

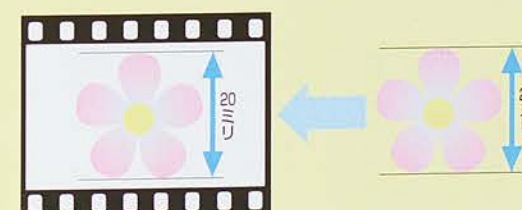
クローズアップは接近して撮影するので被写体が大きく写ります。どの程度の大きさに撮影されるかを示すのが撮影倍率です。

撮影倍率は被写体とフィルムに写った像との比で表され、被写体の大きさがフィルム上に半分の大きさに写ると1/2倍、被写体と同じ大きさに写れば等倍(1/1倍)となります。

たとえば原寸で20mmといった小さな被写体を撮影する場合、フィルムに実際に20mmの画像で撮影できるとすれば等倍(1/1倍)、10mmで撮影できる場合は1/2倍です。

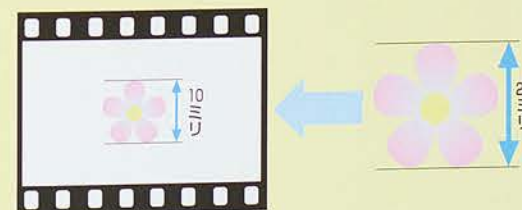
### 等倍

被写体をフィルム上に実物と同じ大きさで写せます。



### 1/2倍

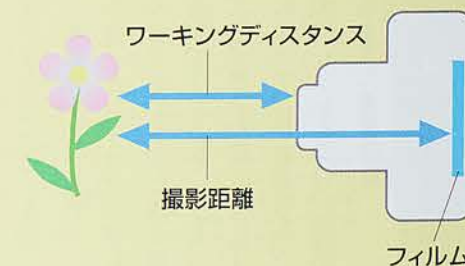
被写体はフィルム上では実物の1/2倍の大きさで写せます。



### ■撮影距離とは

撮影距離は一般の撮影でも用いられる言葉で「カメラから被写体までの距離」と説明されますが、厳密には「フィルム面から被写体までの距離」が正しい説明です。

これに対し、レンズの前面から被写体までの距離のことをワーキングディスタンスといいます。撮影倍率が高くなると、この距離が極端に短くなり数センチから数ミリになる場合もあります。ピント合わせをするときに被写体とぶつかったり、照明にも支障をきたすこともあります。



# マクロ撮影の世界

## MacromaX

マクロ撮影を手軽に楽しめる  
GOKOのコンパクトカメラ  
MacromaX

マクロ撮影はしてみたい。でも写真のピク  
ナーなので、いきなりマクロレンズはちょ  
っと……という方に、ゴコーからマクロ撮  
影もできるコンパクトカメラMacromaX  
シリーズが発売されています。もちろん通  
常のカメラ同様、無限遠までの撮影も可能  
です。マクロ撮影でもオートでシャープな  
画像が撮影できます。

### AZS700AF

2倍ズームに25cm接写がドッキング

操作が簡単な2倍ズームレンズを搭載し、  
ワンタッチでスーパーマクロに切り替え  
ることができるコンパクトカメラです。  
スーパーマクロモードでは25cmから  
70cmの被写界深度があるので、被写体を  
シャープに撮ることができます。

- レンズ：35mm～70mm F5.3～F10  
特性高性能光学レンズ採用
- 撮影モード：  
スーパーマクロ（合焦範囲 0.25m～0.7m）  
ノーマル（合焦範囲 W0.70/T0.80m～∞）



メーカー希望小売価格（税別）  
20,000円

# GOKO



メーカー希望小売価格（税別）  
49,000円

### MAC-10 Z3000

ズームもマクロもこれ1台

フルオートの3倍ズームレンズを搭載して  
いますから、ズームもマクロもこれ1台で撮  
影できる便利なコンパクトカメラです。わ  
ずらわしいピント合わせや難しい露出計算  
もすべてカメラまかせですし、ウルトラマ  
クロモードでは被写体に10cmまで近づけま  
す。集合写真から足元の草花まで、様々な  
写真の世界を楽しむことができます。

- レンズ：38～115mm F3.9～10.8
- 撮影モード：  
ウルトラマクロ（合焦範囲 0.10m～0.20m）  
スーパーマクロ（合焦範囲 0.20m～0.50m）  
ノーマル（合焦範囲 W0.70/T0.85m～∞）

## ニコンのマイクロレンズラインナップ

### AFマイクロニッコール 60mmF2.8D

最短撮影距離が約22cmの標準  
マイクロレンズ。無限遠から  
1/1の等倍まで鮮明な画像が得  
られる。花や風景、スナップな  
ど用途の広いレンズ。



メーカー希望小売価格（税別）  
57,000円

### AFマイクロニッコール 105mmF2.8D

最短撮影距離が約31cmの中望  
遠マイクロレンズながら、標準  
と同等の明るいレンズを採用し  
ているので、無限遠から1/1の  
等倍までシャープな描写力を持  
つ。昆虫や小動物から一般のス  
ナップまで、幅広く対応できる。



メーカー希望小売価格（税別）  
86,000円

### AFマイクロニッコールED200mmF4D



メーカー希望小売価格（税別）  
194,000円

最短撮影距離が約  
50cm、ワーキングデ  
イスタンスが26cm  
の望遠マイクロレン  
ズで、1/1の等倍ま  
で撮影できるので、マ  
クロ撮影の範囲を大き  
く広げることができる。

### AFズームマイクロニッコール ED70～180mmF4.5～5.6D

最大撮影倍率は180mm時で1/1.32倍、  
70mm時で1/3.2倍。最短撮影距離はズ  
ーム全域で約37cm、ワーキングディ  
スタンスは約12cmの、世界初のAFズームマイ  
クロレンズです。



メーカー希望小売価格（税別）  
168,000円

# Nikon

ニコンAFマイクロ105mm f5.6で撮影。左写真は画面がバラの黄色で覆われているので、このままでは暗い。右写真は+1.0の露出補正を加えたもの。



被写体の色が黄色や白といった、反射  
率の高い色に覆われた場合はプラス側に、  
また、暗い背景が大きな面積を占めてい  
たり、被写体の色そのものが暗い色の場  
合はマイナス側に補正するようにします。  
補正する量は状況によってケース・パ  
イ・ケースになりますので、値を変えて  
何枚も撮っておきましょう。また、露出  
は絞りとシャッタースピードの関係で決  
まりますが、マクロ撮影では被写界深度  
が狭いために、露出を補正するとシャッ  
タースピードが予想以上に変化すること  
ががありますので、露出補正後のブレには  
充分に注意しましょう。

マクロ撮影ならではの  
露出補正が必要になることも

のもマクロ撮影の特徴であり、また魅力  
でもあるのです。ささいな風でしたらポ  
ール紙や下敷き、場合によってはたの  
紙でさえ、充分な風よけになります。そ  
のときそのときの撮影者の工夫次第で、  
素晴らしい作品を生み出すことができ  
るので、よりオリジナリティの高い作品が  
できやすいのがマクロ撮影なのです。

最近の一眼レフカメラでは、オートで  
も充分にきれいなマクロ撮影が可能です。  
しかし、マクロ撮影ならではの状況で、  
露出に補正が必要になる場合もあります。  
それは上の写真のように、画面が一つの  
色で覆われてしまい、色が偏ってしまう  
場合です。

ささいな違いで  
別の作品になってしまう  
マクロ撮影の世界

一見、マクロ撮影は足下の小さなもの  
をクローズアップするだけのように思わ  
れがちですが、実際はささいな絞りやピ  
ントの位置の違い、撮影者のちよっとし  
た工夫が作品の仕上がりに影響を与えま  
す。また、撮影位置をこくわずかに移動  
したり、ほんの少しカメラの角度を変え  
ただけで、まったく違う作品になってし  
まいます。マクロ撮影の面白さの一つは、  
このように同じ位置から同じ被写体を狙  
っても、数多くの作品を作ることができ  
ることです。日の射し込み具合や天候に  
も大きな影響を受けますから、そのバリ  
エーションは無数にあると言ってもいい  
でしょう。

マクロレンズの最新線  
ニコンの  
AFズーム  
マイクロレンズ

（株）ニコンから発売されているA  
Fズームマイクロニッコールレンズ  
は、世界で初めてAFマイクロレン  
ズでズームを実現しています。屋外  
の撮影では被写体に近寄れないこと  
も珍しいことではありません。たと  
えば花壇の中央に咲いている花を狙  
おうにも、花壇の中に入り込むこと  
はできませんし、自然公園などでは  
細い遊歩道に行動が限られてしま  
う場所もあります。被写体に近寄ら  
なければならぬマクロ撮影泣かせの  
状況は意外と多いのです。かとい  
って望遠も中望遠も、マクロレンズ  
を複数持ち歩き、いちいちレンズを  
付け替えていたのでは大変です。

（株）ニコンのAFズームマイクロ  
ニッコールレンズは中望遠から望遠  
までカバーできるので、こうした状  
況で威力を発揮します。また三脚を  
移動させずにレンズ操作だけで、よ  
り自由なフレーミングを可能にして  
くれます。もちろん通常の撮影にも  
ズームレンズとして使用することが  
できますので、これ一本で屋外撮影  
の大半をカバーすることができる、  
大変優れたレンズです。

## ニコン 開発秘話

被写体に寄るマ  
クロ撮影ができ  
て、しかも無限  
遠の風景もきれ  
いに撮れるレン  
ズの開発は、それ  
だけでも非常に  
高度な技術が必  
要とされますが、  
そのうえ焦点距  
離を変えられる  
ズームマイクロ  
レンズの開発に  
取り組んだ株  
ニコンの開発ス  
タッフには、並  
々ならない苦  
労がありました。  
このレンズに  
は18枚という  
大量のレンズが  
使用されています。  
さらに近距離  
で撮影したとき  
に画像のゆが  
みが生じないように、  
近距離補正方式  
として、これらの  
レンズを14のグ  
ループに分け、各  
グループが独立  
してパズルよう  
く動きを調整さ  
せるように設計  
されています。し  
かもできるだけ  
レンズ全体の重  
量を軽くしなけ  
ればなりません。  
この困難な課  
題に挑んだ開発  
者の皆さんの技  
術と苦勞の結果  
が、この世界初  
のAFズームマ  
クロレンズなの  
です。

## マクロ撮影の世界

## 〈各社マクロレンズ商品ラインナップ〉

## MINOLTA

AFマクロ  
100mmF2.8D

等倍撮影が可能な中望遠マクロレンズ。最短撮影距離は35cmと、中望遠マクロレンズの中では長い。AF撮影時に一時的にフォーカスロックがかけられる。



メーカー希望小売価格(税別)  
87,000円

## SIGMA

AFマクロ  
50mmF2.8EX

最短撮影距離が約19cm、等倍まで撮影できる標準マクロレンズ。キヤノン、ペンタックス、シグマ、ニコン、ミノルタの各マウントが用意されている。最小絞りはキヤノン、シグマ、ミノルタ用がf45まで、ペンタックス、ニコン用はf32まで。



メーカー希望小売価格(税別)  
35,000円

AFマクロ  
105mmF2.8EX

最短撮影距離が約31cm、等倍までの撮影ができる中望遠マクロレンズ。最小絞りはキヤノン、シグマ、ミノルタ用がf45まで、ニコン、ペンタックス用はf32まで。



メーカー希望小売価格(税別)  
57,000円

## Canon

EF50mmF2.5  
コンパクトマクロ

最短撮影距離が23cm、最大撮影倍率1/2倍の標準マクロレンズ。開放でF2.5と明るいレンズを搭載している。別売りのライフサイズコンバーターEFを併用すると等倍まで撮影できるようになる。



メーカー希望小売価格(税別)  
42,000円

EF100mmF2.8  
マクロUSM

ピント合わせ時にレンズが変化しないインナーフォーカス方式を採用している中望遠マクロレンズ。最大撮影距離は31cm、等倍まで撮影できる。



メーカー希望小売価格(税別)  
82,000円

## TAMRON

## SPマクロAF90mmF2.8Model 172EN

最短撮影距離が29cm、等倍まで撮影できる中望遠マクロレンズ。キヤノン、ニコン用はピントリングをスライドさせるだけでAFとMFが切り替えられる。



メーカー希望小売価格(税別)  
68,000円

## PENTAX

## SMCペンタックスFAマクロ100mmF2.8

最短撮影距離が約31cmで等倍まで撮影できる中望遠マクロレンズ。AFでのピント合わせに便利なフォーカスリミッターを装備しているなど、操作性に工夫が凝らされている。



メーカー希望小売価格(税別)  
80,000円

OLYMPUS

人から発想します。オリンパス

あなたの最高であり続けた。

あの美しいミューに、  
超高倍率170ミリズームを  
搭載しました。

新登場



- エレガントなフォルムで迫力の170mmズーム。
- 高画質を約束、「EDレンズ」採用。
- 2つのオートフォーカス機構でシャープなピント。
- 「撮れた!」がわかるビジュアルファインダー搭載。
- 雪や水しぶきも安心の生活防水付。

美しさだけでも、機能だけでもない。

μ [mju:] II 170 VF

希望小売価格(税別) ¥50,000 (リモコン・ソフトケース・ストラップ付)

μ 新基準

PENTAX

プロの高画質を、  
すべての写真ファンのものに。



機動性も、操作性も、もはや35ミリAF一眼と変わらない。

世界初AFシステム搭載、ペンタックス645N

## 世界3大カメラ賞受賞

CAMERA GRAND PRIX '98 カメラグランプリ'98  
EISAヨーロッパプロフェッショナルカメラオブザイヤー'98-'99  
TIPAベストプロフェッショナルプロダクト・イン・ヨーロッパ1998-'99

グッド・デザイン選定商品



AFスーパーフィールドカメラ

645N

ボディ希望小売価格(税別)300,000円

FA 645 75mm F2.8 希望小売価格(税別)60,000円

旭光学工業(株)・ペンタックス販売(株)

◎この商品のカタログはペンタックスのホームページでご覧になれます  
http://www.pentax.co.jp/

◎カタログご希望の方はハガキで、必ず機種名を明記のうえ、  
〒100-8592 東京中央郵便局私書箱895号 ペンタックス販売(株) 宣伝部へ  
◎製品についてのお問い合わせは、お客様相談室へ。03(3572)6479

**紅葉の大パノラマ  
カナダ東海岸メープル街道撮影紀行**

燃え盛るメープル街道は大パノラマの連続です。そのメープル街道の中でも特に被写体色強い二大リゾート地を選び、連泊していただいて、じっくりと紅葉のカナダをご満喫していただけます。

**8日間**

- 旅行期日：2001年10月3日(水)～10月10日(水)
- 旅行代金(お一人様)：398,000円 ●一人部屋料金：48,000円
- 募集人員：先着25名様(最少催行人員10名様)
- 撮影指導：高田誠三先生

**ヒマラヤの大自然とネパール撮影**

世界の屋根・ヒマラヤは、バスでも迫力あるヒマラヤの写真が撮れるところまで行けます。他方ネパールは、宗教色の濃い街の風景、旧王宮や彩り鮮やかな寺院など、魅力ある被写体に恵まれています。

**8日間**

- 旅行期日：2001年12月14日(金)～12月21日(金)
- 旅行代金(お一人様)：248,000円 ●一人部屋料金：36,000円
- 募集人員：先着30名様(最少催行人員15名様)
- 撮影指導：大鏑真一先生

**サハラ砂漠とイスラム文化遺産  
大自然に囲まれたチュニジア撮影紀行**

ギリシャ・エーゲ海文明までさかのぼる伝統的なモザイク模様は格好の被写体。緑豊かな山岳オアシス、荒涼なサハラ砂漠など、豊富な被写体で傑作を生み出してみませんか。

**10日間**

- 旅行期日：2002年2月20日(水)～3月1日(金)
- 旅行代金(お一人様)：360,000円 ●一人部屋料金：32,000円
- 募集人員：先着25名様(最少催行人員10名様)
- 撮影指導：矢野建彦先生

**お問い合わせ・お申し込みは**

主催：名鉄観光サービス(株)梅田支店  
運輸大臣登録旅行業第55号 日本旅行業協会正会員

**朝夕の光に輝くパゴダ  
ミャンマーの風景と生活撮影**

ミャンマーは朝日、夕日が最高の場所。朝夕の光線に光り輝くパゴダ(仏塔)、少数民族の宝庫、インレー湖、花咲くシャン高原。被写体盛り沢山の撮影ツアーです。

**8日間**

- 旅行期日：2001年11月5日(月)～12日(月)
- 旅行代金(お一人様)：248,000円 ●一人部屋料金：28,000円
- 募集人員：先着25名様(最少催行人員10名様)
- 撮影指導：大山謙一郎先生

**悠久の大地。新年の沐浴で賑わう  
ベナレス・デリー インド撮影ツアー**

悠久の大地インド。朝夕の光に染まる、タージマハル。ヒンズー教徒の新年(1月14日)の沐浴で賑わうベナレスでのスナップ撮影。ガンジス川にボートを浮かべ、船上よりの沐浴の風景撮影をお楽しみ頂きます。

**5日間**

- 旅行期日：2002年1月12日(土)～1月16日(水)
- 旅行代金(お一人様)：198,000円 ●一人部屋料金：25,000円
- 募集人員：先着30名様(最少催行人員15名様)
- 撮影指導：中島登代子先生

**世界自然遺産・中国の絶景・黄山撮影紀行**

世界文化遺産・黄山は風景撮影のメッカ。そびえたつ無数の岩山、朝の雲海、そして夕景。黄山に3泊し、ポイントを少しずつ変えながら、表情豊かな黄山の移ろいを撮影します。

**6日間**

- 旅行期日：2002年3月21日(木)～3月26日(火)
- 旅行代金(お一人様)：178,000円 ●一人部屋料金：25,000円
- 募集人員：先着30名様(最少催行人員15名様)
- 撮影指導：西 敏彦先生

企画：(株)ラボネットワーク

☎ 06-6311-2168 (月～土・9～17時)  
FAX 06-6311-6657 ume3@osaka.mwt.co.jp 担当：水戸・吉留・池原

※撮影に重点を置いたご旅行ですので、ホテルの出発が早朝、到着が深夜となる場合もございます。又、当日の被写体の状況により、行程を変更させていただく場合もございます。

**カメラのキタムラ企画のフォトツアー  
参加者大募集**



カメラ好き、撮影好きの方々を知り尽くしたカメラのキタムラが、特別に企画したフォトツアーの参加者を募集しております。名高い世界の撮影ポイントをプロカメラマンの実践指導を受けながら、じっくりとまわってみませんか。どのプランも撮影中心のゆったりとしたスケジューリングで、安心・快適な旅行をお楽しみいただけます。

**色彩豊かな海洋王国に花の咲く  
初夏のポルトガル撮影**

煉瓦色の町並みのポルト、運河と色鮮やかな町並みのアヴェイロ、木漏れ日の美しいブサコ、漁業の町ナザレ。そして、首都リスボンでは、昔ながらの町並みが残るアルファマ地区を中心に撮影いたします。

**8日間**

- 旅行期日：2001年5月10日(木)～17日(木)
- 旅行代金(お一人様)：298,000円 ●一人部屋料金：38,000円
- 募集人員：先着25名様(最少催行人員15名様)
- 撮影指導：蜂須賀秀紀先生

**魅惑の島・南国異文化バリ島撮影紀行**

海に浮かぶタナロット寺院や熱帯地方独自の建物と石の寺院の織り成す独特の風景など、バリ島は被写体の宝庫。パロンダンスまたはレゴンダンスを貸切、夕暮れのビーチで演出も含めた撮影をいたします。

**5日間**

- 旅行期日：2001年7月4日(水)～7月8日(日)
- 旅行代金(お一人様)：158,000円 ●一人部屋料金：24,000円
- 募集人員：先着30名様(最少催行人員15名様)
- 撮影指導：あらたひでひろ先生

**中国の奇勝～桂林～水墨画の世界を撮ろう**

漓江に展開する奇勝・桂林。素朴な農村の生活風景が展開する村々と背後に並ぶ奇岩の数々。有名な鸕鷀船の演出撮影もお楽しみいただけます。

**5日間**

- 旅行期日：2001年8月8日(水)～12日(日)
- 旅行代金(お一人様)：168,000円 ●一人部屋料金：20,000円
- 募集人員：先着30名様(最少催行人員15名様)
- 撮影指導：山本学先生

**トルファン ウルムチ  
吐魯番・烏魯木齊シルクロード撮影紀行**

果てしなく広い砂漠とラクダ、隊商の列、地平線に沈む太陽、蜃気楼、オアシス、そして数々の少数民族の歌と踊りなど、風景撮影派にもスナップ派にも、どちらにもきつと満足いただけます。

**8日間**

- 旅行期日：2001年9月3日(月)～10日(月)
- 旅行代金(お一人様)：298,000円 ●一人部屋料金：28,000円
- 募集人員：先着25名様(最少催行人員15名様)
- 撮影指導：桜井始先生

**RICOH**

**高次元の描写力。**

GR1sの主な特長 ●GR LENS 28mm F2.8は、非球面レンズ採用、4群7枚オールガラスのマルチコーティングで優れた描写力 ●暗い状況下での撮影にとっても便利な光る情報パネル ●逆光時の撮影に重宝する本格的な花型フードを装備 ●ナチュラルな画像を生むディストーション性能の良さ ●ニュートラルな発色のCCL分光透過率 ●高精度7ゾーンパッシブ方式マルチオートフォーカス ●美しいボケ味のために考慮された7枚構成のレンズ 絞り羽根 ●シンプルで明るいブライトフレームファインダー ●絞り優先AE ●露出補正ダイヤル ●主な撮影モード：フラッシュ強制発光モード(日中シンクロ/スローシンクロ可) ●フラッシュ発光禁止モード ●オートフラッシュモード ●遠景モード ●シングルAF (LV6以上中央重点測光)モード ●スナップモード ●フォーカス固定モード ●赤目軽減モード ●セルフタイマーモード ●タイムモード等

(ボディカラー：ブラック/シルバー)

●メーカー希望小売価格(フード、革ケース込)  
GR1s……………¥95,000(税別)  
GR1s DATE……………¥105,000(税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。

〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-7 株式会社リコー カメラサービスセンター内  
0120-007962 ●受付時間 月曜から金曜/9:30～17:00  
●土曜・日曜・祝日はお休みさせていただきます。

**インターネットプリントサービス**

高品質 フジカラー プリント  
全国555店のカメラのキタムラの店頭でお渡しします!

あなたの写真生活応援サイト  
**kitamura.co.jp**  
撮る!見る!買う!知る!仲間ができる!

デジカメで撮影した画像がパソコンからインターネットを使ってプリント注文できます!

- 1 キレイ長持ち!**  
高品質な銀塩プリントだから、ご家庭のプリンターに比べ、圧倒的に美しく、長持ち。
- 2 イライラ解消!**  
プリンターで印刷する時の「イライラ」から開放され、面倒な出力が不要です。
- 3 安心! 便利!**  
お近くの「カメラのキタムラ」で受け取って、代金をお支払いいただくので安心便利。

**フジカラーCDからでも注文できます。**

①フィルム1本の全コマをお手軽価格でCD-Rに書き込みできます。  
②CD-R1枚に、フィルム5本までOK!

同時プリント FUJICOLOR CD

くわしくは、カメラのキタムラ店頭で...

ネットデジカメプリント 1枚 **35円** (DSC・Lサイズ)  
**基本料金無料**

ネットポストカードプリント 1枚 **50円** (30枚以上)  
**基本料金 1件 1,200円+八ガキ代(1枚50円)**

くわしくはこちらへ! **www.kitamura.co.jp**

キタムラのご案内 インターネットでお買い物 ご意見窓口



## ながいフォトサークル'99



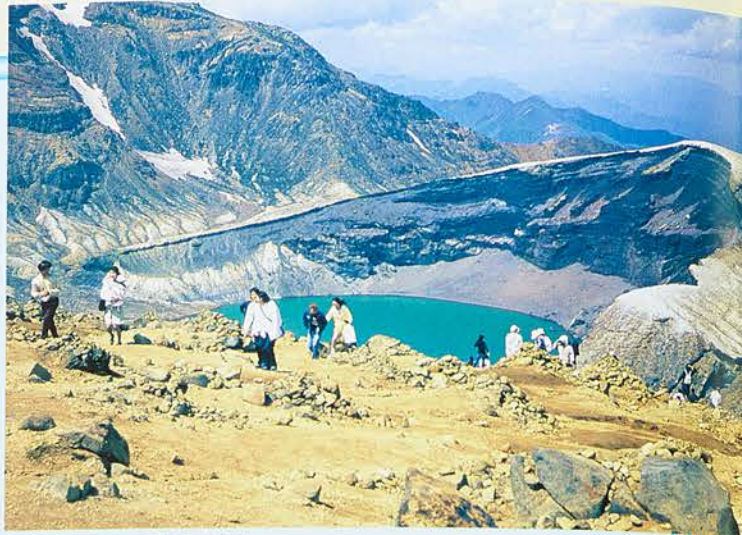
- 設立 1999年10月
- 会員数 9名
- 活動 毎月1回の定例会  
年2回の写真展  
年数回の撮影会
- 場所 山形県長井市

当サークルの前身は「写友スリー」と称し、現会長を中心に3名で結成されました。このサークルの作品に感動したメンバーを加えて新たに結成したのが現在のサークルです。当サークルでは年2回の写真展を開催していますが、その1回はテーマに基づいた写真展、

もう1回は自由作品による写真展としております。

本年度のテーマは「まつり・行事」でした。長井市のみならず、東北各地に足をのぼし、伝統的な祭りのもつ荘厳さやエネルギーを写し撮るため、月1回の例会で研修を重ね、その結果を発表したものです。

平成13年度のテーマは「木・林・森」としましたが、その美しさはもちろんのこと、レンズを通して自然環境の貴重さについても考えてみたいと、会員一同張り切っています。



手塚善一氏の作品「春の蔵王」



大道寺市三郎氏の作品「灯る（上杉雪灯籠まつり）」

## K・フォトグループ ピッコロ

- 設立 2000年8月11日
- 会員数 15名
- 活動 毎月1回の定例会  
年数回の撮影会
- 場所 山梨県中巨摩郡

カメラのキタムラ甲府昭和店で顔馴染みになった写真好きの老若男女が、意気投合して発足した会で、「ピッコロ」とはイタリア語で「かわいい」「小さな」という意味があり、会員の若林佳子氏の愛犬の名前（掲載作品参照）です。また「K・フォト」のKはキタムラのイニシャルを拝借いたしました。

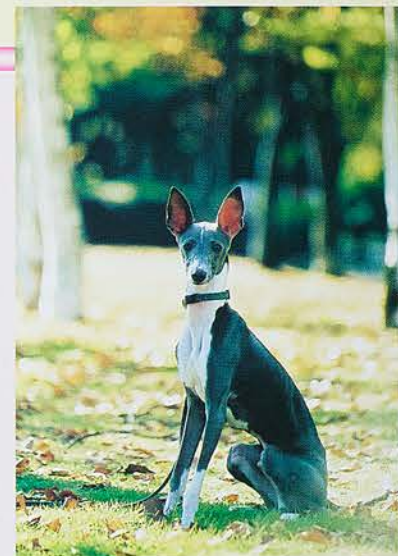
現在は月一回の例会が楽しく、会員一同心待ちにしております。会員それぞれで作品のテーマは違っていても、互いに刺激しあい、切磋琢磨し、全国の写真コンテストにも積極的に応募してまいります。



阿井美代子氏の作品「雪帽子」



五十嵐謙三氏の作品「ともだち」



若林佳子氏の作品「おすまし」

カメラのキタムラでは、今後も全国の写真クラブのみなさまをご紹介していきます。掲載をご希望の方は、お近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。

## キヤノンクラブ倉敷支部

- 設立 1983年5月
- 会員数 29名
- 活動 毎月1回の定例会  
年2回の撮影会  
年1回の写真展
- 場所 岡山県倉敷市

「キヤノンクラブ倉敷支部」では「会員相互の親睦と写真技術の向上」をクラブ運営の基本理念としております。会員は現在29名（内女性4名）で、年齢は20代から80代まで、職業も公務員、サラリーマン、自営業と様々です。唯一会員に共通しているのは写真が好きで、写真を楽しむと思っていること。

毎月の例会では、それぞれ得意の分野の作品を各々3点ほど持ち寄り、互いに苦労話やノウハウを披露して、互選の結果で成績表を作り、東京の大山謙一郎先生に送って添削講評をいただいております。

また年1回倉敷市立美術館で開催している写真展は、広く一般の方々に日頃のクラブの活動の成果を見ていただく機会でもあり、会員はこの写真展に向けて日夜努力しております。

佐藤隆志の作品「鶴の舞い」



中塚ヤスヒロ氏の作品「高知の女」



西山雅司氏の作品「瀬戸の日の出」



## 吹上写真クラブ

- 設立 1953年4月1日
- 会員数 34名
- 活動 毎月1回の定例会
- 場所 埼玉県北足立郡

「吹上写真クラブ」は会員相互の写真技術の向上と親睦を図り、写真を通じて町の文化活動に寄与することを目的に、昭和28年に15名の会員で設立され、今年で48年目の歴史を持つ写真クラブです。その後、写真愛好者が急増して現在では会員数の34名と活気にあふれています。

町で4月に開催される桜祭りや11月の文化祭や、年2回駅の構内に作品を展示し、県北展や近隣市美展（入賞3回、内1回は知事賞を受賞）にも出品しています。また春と秋には撮影小旅行を開催しています。

毎月の例会では会員各自が作品を3点持参し、互選コンテストを行い、無記名投票で高得点順に順位をつけ、年間を通して高得点を取った会員を、総会で発表して健闘を讃えています。会員同士が良きライバル意識を持ちながら、楽しい日々を過ごしている写真クラブです。



強瀬満春氏の作品「葛紅葉」



茂木哲雄氏の作品「吹上桜」



茂木初枝氏の作品「夜桜」

# 感応する性能。 EOS 7 誕生。

Canon

カメラを構える。レンズを向ける。どうしても写真にしておきたい一瞬がある。  
被写体を感じる閃きに、いままでになく鋭く応える、EOS 7 誕生。  
高精度7点AFと最速視線入力との絶妙なコンビネーションによる小気味よさ。  
使いやすく明快な操作系。しっかりと手になじむ高質感ボディに、  
すべての高性能を高密度に一体化。いま、EOS 7が、あなたの撮影本能に感応する。



●最速視線入力7点AF ●測距点がダイレクトに選択できる十字キーを装備 ●約4コマ/秒(動物予測-AIサーボAF時約3.5コマ)の高速連写 ●明快なスーパーインポーズや像消失時間の短い、キレイのいいファインダー ●測距点对応の35分割評価測光をはじめ、多彩な測光方式を搭載 ●ブラックアルマイト処理の金属外装を採用した、高質感ニューデザインボディ ●さらに静かになった、EOSならではのサイレント給送 ●ポップアップストロボ内蔵に加え、先進のE-TTL自動測光システムにも対応 ●ダイヤルおよびレバー類を中心とした直感的な操作系 ●視線入力搭載機で初めて視度調整機能を内蔵  
メーカー希望小売価格 EOS 7ボディ……………¥93,000(税別) / EF28-105mm F3.5-4.5 II USM付き……………¥138,000(税別)  
EF28-90mm F4-5.6 USM付き……………¥121,000(税別) ●EOS 7に関する製品情報は、下記のインターネットまたは、FAX情報サービス  
をご利用ください。 ☎108-8011 東京都港区三田3-12-15東急三田ビル キヤノン販売株式会社 キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

## 新登場 Canon EOS 7

最速視線入力7点AFをはじめ、すべての高性能がハイレスポンスへと結実。

●EOS 7に関する詳しい製品情報はURLにアクセスいただくか、次のFAX情報サービス(製品情報BOX番号28105)へ、どうぞ。

<http://www.canon-sales.co.jp/7/>

●FAX情報サービス 東京 03-3455-5962 札幌 011-728-0485 秋田 018-826-0441 仙台 022-211-5730  
名古屋 052-936-0758 大阪 06-4795-9011 広島 082-240-6729 高松 087-826-1621 福岡 092-411-9510

## KITAMURA INFORMATION

### 「21世紀に残す日本の風景遺産100選」 写真集が発刊されました。

読売新聞社と休暇村協会が主催し、カメラのキタムラが特別協力で作品を募集した、「21世紀に残す日本の風景遺産100選」の結果をまとめた写真集が、『訪ねてみたい! 21世紀に残す日本の風景遺産100選』というタイトルで、読売新聞社から1月30日に全国の書店で発売されました。全国からお寄せいただいた10,813点もの応募作品の中から選ばれた、100点の入賞作品と、秀作81点とが掲載されています。



便利なお見どころガイドとアクセス付きで、高精細印刷による非常に美しい仕上がりの一冊です。  
全国のカメラのキタムラでもたまたま好評発売中です。ぜひ一度ご覧ください。

A4判/オールカラー/160ページ  
定価1,524円(税別)  
発行：読売新聞社  
全国の書店、カメラのキタムラ、休暇村で発売中

### フォトコンテスト専門マガジン 「フォトコンライフ5号」刊行!

特集「春の花」では、「全国春の花フォトコンテスト」の上位入賞者の作品を、三好和義氏の選評を添えて一挙公開。合わせて三好氏の作品や自然観、ネイチャー撮影の極意を紹介。また、誌上フォトコンテスト「人のいる風景」では、ポートレート作家の第一人者、長友健二氏が選んだ上位入賞作品と選評を、インタビューを添えて掲載。新連載「撮影ポイントを訪ねて」第一回は、熊野古道と水をテーマとして取り上げます。連載「プロに学ぶ」は、「虫のメッセンジャー」ネイチャー写真家・海野和男氏が登場。3月21日発売予定です。ご期待ください。

A4変形判/オールカラー/148ページ  
定価1,143円(税別) 発行：双葉社

お手持ちのカメラやレンズを、

**高価下取り・  
買い取り** いたします。  
詳しくは、お近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。

楽しい情報満載!! カメラのキタムラホームページへ今すぐアクセス!!

あなたの写真生活応援サイト  
**kitamura.co.jp** What's New!

撮る!見る!買う!知る!仲間ができる!

- お買い物【中古ネット販売】
- 旬の撮影ポイント!
- Weekly Pick-up!【最新商品情報】
- 写真教室

デジカメで撮ったら、カメラのキタムラへ!

デジカメからプリント  
すぐできます。



1 デジカメで撮影したら  
2 メディアをキタムラへお持ち下さい

キタムラ全店で  
おまかせしません

3 美しいカラー  
プリントが  
すぐできます

※ポイントカードが必ず  
最高品質のプリントを得るには、お使いのデジタルカメラの画質(ピクセル)設定を高画質に設定してください。  
紙解像度や高圧揮発性インクに設定された場合、「高画質プリント」のために必要な情報量が不足し、画質が悪くなる場合がありますのでご注意ください。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル

1	ツ	2		3	ハ	4
		5	ヤ	6	チ	
		7		8	コ	
9		10	シ	ウ	11	12
				ウ		ワ
13	カ					マ

- タテのカギ
- 「○○の上にも3年」などと言いますね。
  - 刀を収めるところ。
  - 渋谷で有名な忠犬といえは?
  - 「鮪」という魚の名前。サテ何と読む?
  - 夫が妻の姓を名乗って、家を継ぐこと。
  - インド料理に付き物のパンといえは?
  - 海に棲む哺乳類といえは、クジラと…
  - 「○○錯誤の連続」などと言います。
  - アメリカで最も新しい州って、ドコ?

- ヨコのカギ
- 俳人にも、「DA PUMP」のメンバーにもいます。
  - 五月の第二日曜は○○の日。
  - 点心を食べながらお茶を飲む、中国の食事スタイル。
  - 「ひとりひとり」あるいは「ひとつひとつ」のこと。
  - マネ、モネ、ルノアールといえは?
  - 「○○」より、「年の○○」。
  - ワイドショーを賑わしている、森子&美香といえは?

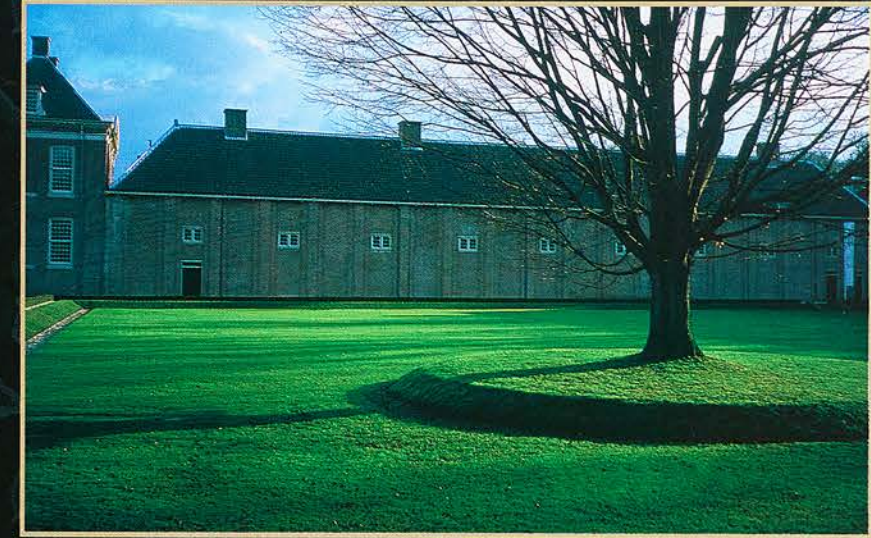
答え=○○○○○  
ヒント: キタムラのフォトコンテストも…

問題: クロスワードに答えて、A~Eのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。

あて先: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ「フォトライフ四季 クロスワードパズル」係  
締め切り: 5月31日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.34) 解答とご当選者 解答:「ムシノコエ」  
岩田康一(北海道)、藤森友一(北海道)、柏木貴美子(神奈川県)、大橋佳子(群馬県)、佐藤節子(富山県)、花岡晴彦(富山県)、藤井綱男(福井県)、渡部和芳(愛知県)、今井清司(滋賀県)、瀬川善一(滋賀県)、辻野政一(大阪府)、佐藤清美(奈良県)、勝山園子(兵庫県)、山田秀之(鳥取県)、伊藤みさえ(鳥取県)、藤原節子(岡山県)、西田孝太郎(岡山県)、中村幸子(広島県)、三山俊行(広島県)、堀川美奈子(香川県)、平岡有紀(徳島県)、大原伸也(愛媛県)、佐々木あさ子(愛媛県)、三好義一(愛媛県)、宮原浩(福岡県)、藤村正勝(福岡県)、羽野あけみ(福岡県)、田村進(福岡県)、鈴木英樹(福岡県)、安座間まゆみ(沖縄県) 敬称略

# 表現主義



デザインに、作画意図を豊かに表現しきる撮影性能に、その思想がつかぬかれた1台。写真本来の広く、深いテイストを味わいつくしたい方におくります。



**新登場**  
高品位35mmコンパクトカメラ [クラッセ]

# KLASSE

- カラーリバーサルフィルムの性能をフルに引き出す感性の眼スーパー-EBCフジノンレンズ、F2.8, 38mm
- シャッターチャンスに強いプログラムAE
- 広がる風景から、人物撮影、40cmまでの近接撮影まで、オールラウンドに使える高性能
- 高度な作画づくりに対応できる絞り優先AE
- 連続的に3段階の露出が得られるAEB (オートエクスポージャーブラケティング) 機能
- 作品づくりの幅を広げるマニュアルフォーカス

メーカー希望小売価格77,000円(ネックストラップ込)(消費税別) / 本革カメラケース(ハンドストラップ付)(別売)4,000円(消費税別)  
カタログをご希望の方は、住所・氏名・年齢・職業を明記の上、〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30 富士写真フイルム(株)「プロ写真部 クラッセ係」。  
またはフリーダイヤル[0120-111-645]受付時間9:00~18:00(日曜・祝日可) 富士フイルムホームページ <http://www.fujifilm.co.jp/klasse/>